

# 淀川水系河川整備計画 進捗点検結果（令和5年度）

- P 1～ 瀬田川・野洲川
- P 5～ 桂川
- P 8～ 猪名川
- P 13～ 木津川下流
- P 16～ 木津川上流
- P 20～ 淀川本川
- P 24～ 宇治川

■説明資料で取り上げた点検指標

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	河川レンジャー制度運営委員会においてとりまとめた「河川レンジャー活動の理念・あるべき姿」に基づき、一般公募により選ばれた河川レンジャーが河川清掃活動などを通じて住民と住民ならびに住民と行政との連携・協働を行う体系が確立できている。令和5年度は計23回の活動実施。河川環境意識の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 瀬田川水辺協議会にて「瀬田川にゴミが多い、沿川のみみんなで清掃を。」との提言のもと、平成19年度より沿川住民、河川利用者等と協力し瀬田川一斉清掃を実施しており、この地域の10月4日曜日の恒例行事として定着している。令和5年度は約350名の参加で実施した。河川美化への意識向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	河川協力団体であるウォーターステーション琵琶の会と連携し、川や琵琶湖に親しむことを目的に、水辺に親しむ体験型イベント「水辺の匠」を毎年7月と12月に開催し、治水、防災や河川環境をより身近に感じてもらうことができている。令和5年度は新型コロナウイルスの5類への移行もあり、4年ぶりに年2回開催が復活した。治水、防災及び環境教育の推進に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 沿川住民、漁業組合等の河川利用者と協力し瀬田川クリーン作戦を実施している。令和5年度は4回実施した。河川美化への意識向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 東部地域連携会議(6学区自治連合会により設立)の主催により琵琶湖河川事務所と大戸川ダム工事事務所で出前講座を実施し周辺住民約80名が参加。瀬田川改修等の治水事業、浸水リスク、大戸川ダム建設事業を説明し、地域の治水、防災教育の推進に寄与した。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	令和5年度は5名の河川レンジャーが在籍スタートしたが、2名が途中で退任したため、5年度末で3名の在籍となっている。野洲川の住民団体、住民に対しては、清掃、河川の生き物、親水体験イベントを通じて河川の環境保全、やマナー向上意識の推進に寄与したと考えられる。瀬田川においては、小学生とその親に対して瀬田川の自然と生き物、河川管理に関する講座を開催し、河川への関心度、意識向上に寄与したと考えられる。河川レンジャーの充実が図れるように今後も引き続き支援していく。
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	瀬田川及び野洲川で毎年、小中学生を対象とした水生生物調査を実施している。令和5年度は7月に野洲川で地元中学生と8月に瀬田川で地元住民と行った。「生物採取や簡易水質調査をすることにより環境に興味がわいた。」などの感想をいただいた。環境保全意識の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 野洲川河口部ヨシ帯は、立命館守山中学校の環境学習フィールドとなっており、令和5年度においても、立命館守山中学校と連携して、水生生物調査を継続して実施した。生徒たちからは「ヨシ帯が琵琶湖にとって重要であり、魚類の産卵・生育場としても重要で欠かせないものであると改めて感じた」という感想をいただき、環境教育の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 ダム建設予定地直下流の地元小学校(上田上小)では、以前より砂防事業について学ぶとともに、はげ山を緑化するための植樹などにも取り組んできたが、令和4年度から出前講座で大戸川ダムや治水についても学んでもらった。これまで卒業記念として行われてきた植樹を初めて大戸川ダム事業区域内で実施。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	事務所ホームページで水系において関心の高い、琵琶湖の水位や瀬田川洗堰の放流量に関する日々の情報を更新し掲載するとともに、事務所の取り組みに関する活動報告や記者発表の内容について、適宜、掲載し情報発信している。 天ヶ瀬ダム再開発事業の工事に関する情報をまとめた「アマサイツーリング」の最終号をR5.5に発行した。 令和6年3月より事務所玄関ロビーにて、デジタル・サイネージによる情報発信に取り組んでいる。 地元銀行や、近傍での事業と連携し、各広報誌へ事業や施設の広報に取り組んでいる。 水のめくみ館「アクア琵琶」において、アマサイコーナーのリニューアルや企画展の開催などに取り組んでいる。 令和2年度より毎日、事務所X(旧ツイッター)で琵琶湖水位・瀬田川洗堰放流量などを発信している。 河川レンジャーによる活動を広報することを目的にレンジャーレポートを作成し、令和5年度は3回のレポートを発刊した。 これまで付替県道大津信楽線の工事進捗状況について事務所HP上「工事ニュース」により毎月情報発信していたが、令和5年度から新たにダム事業全体の進捗状況等をお知らせする「大戸川ダムだより」を発行。 X(旧Twitter)を令和4年度に開設し、工事現場の動画やダム周辺地域の魅力を投稿し、事業への理解につなげている。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	地域の方々との連携交流施設「ウォーターステーション琵琶」と、広報施設「アクア琵琶」を会場として、例年『水辺の匠』を開催。ウォーターステーション琵琶を利用している活動団体の方々や琵琶湖の治水、防災や環境などの情報発信を行っている。令和5年度は、7月と12月に開催。のべ約960名が参加。河川や琵琶湖への関心向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 毎年3月頃に、守山市主催で『野洲川健康ファミリーマラソン大会』が開催されており、参加者(令和5年度は約855人)を対象としたパネル展示等を行い、「野洲川の歴史」「野洲川河川内樹木の繁茂抑制への取り組み」「野洲川自然再生事業の取り組み」「水防啓発」等の琵琶湖河川事務所の取り組みについて紹介している。野洲川改修の歴史と重要性について、関心向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 例年、6月末頃に、野洲川において守山市主催の『野洲川冒険大会』(いかだ下り大会)が開催されており、参加者及び関係者を対象にしたパネル展示やプレゼンテーション及び有志による「いかだ下り参加」を行っている。令和5年度のいかだ下り大会は約230名が参加した。 ダム周辺整備やダムをきっかけとした周辺地域の活性化、工事中や完成後のダム見学ツアーなどの開催について今後検討を行うための社会実験を実施。ダム上下流住民の交流やダム愛好家団体の参加もあり、一般来場者・スタッフ等関係者合わせて約400名で賑わいを見せた。
	7	小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	完了		
	8	憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	野洲川の堤内側に整備している植栽護岸(延長450m)において、地元自治体等との協働により、植栽の再生に向けてシバザクラの植栽活動を行った。植栽後は「中洲芝桜通り ひだまり」と銘づけられ、地域の方々が見える河川空間として再生されており、植栽護岸の維持管理が地元自治会にて行われている。 令和5年度も、維持管理などの事業は継続されており、瀬田川左岸側舗装のハンドホールを補修し、地域の方々が見やすいよう整備を実施した。	
	9	三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	該当なし		
	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	令和4年度に野洲川、瀬田川の多段階浸水想定図・水害リスクマップを作成・公表した。 アクア琵琶2階にて、野洲川の浸水想定区域についてタッチパネルで表示している。また、パネル展実施時に、パンフレットなどで広報し、防災意識の向上に寄与していることから、令和5年度も引き続き実施した。
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	淀川流域治水協議会(琵琶湖分会)を令和5年度に1回開催した。 令和5年度に、瀬田川地域安全協議会を1回、野洲川地域安全協議会を1回開催した。 滋賀県主催の大規模氾濫減災協議会(湖北圏域、湖東圏域、東近江圏域、高島地域)に令和5年度に1回出席した。
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	該当なし	

■説明資料で取り上げた点検指標

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	点検結果
環境	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全		イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)〕	該当なし	
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	該当なし	
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域(盆地～源流部)木津川〕	該当なし	
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	該当なし	
	17	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組		関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。滋賀県、関係市、NPO法人、学識者、漁協等で構成される「琵琶湖外来水生植物対策協議会」にオブザーバーとして令和5年度において2回参加し情報共有、意見交換を行った。
	18	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	オオバナミズキンバイについて、瀬田川では繁殖の拡大が著しいため、関係機関やNPO団体等との協働による駆除活動に取り組んでいる。滋賀県、大津市、NPO団体、漁業協同組合等と連携を図り、駆除、藻刈りを令和5年度は瀬田川流域クリーン作戦を3回、瀬田川一斉清掃を1回の計4回実施した。外来水生植物の繁殖拡大防止に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。学生ボランティア団体との協働で過年度より外来水生植物の駆除を実施してきたが、令和5年度は直轄外(高島市)での活動となったため協働できなかった。外来水生植物の繁殖拡大防止に寄与していることから、今後直轄河川での活動の際は協働で実施していく。 ※令和5年度NPO法人国際ボランティア学生協会協会(IVUSA)琵琶湖外来水生植物除去大作戦2023 実績:除去量5,440m <sup>2</sup> ・参加(IVUSA 78名・関係者 15名)
	19	良好な景観の保全・創出の取り組み		瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	進捗あり	野洲川の堤内側に整備している植栽護岸(延長450m)において、地元自治体等との協働により、植栽の再生に向けてシバザクラの植栽活動を行った。植栽後は「中洲芝桜通り ひだまり」と銘々され、地域の方々が見える河川空間として再生されており、植栽護岸の維持管理が地元自治会にて行われている。令和5年度も、維持管理などの事業は継続されており、瀬田川左岸側舗装のハンドホールを補修し、地域の方々が利用しやすいよう整備を実施した。引き続き南郷洗堰の維持も行っていく。
	20			河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な是正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	不法投棄警告看板をこれまでに66箇所設置している。不法投棄ゴミについては、令和5年度23.1m <sup>3</sup> のゴミを回収処理した。
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川〕	該当なし	
	22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域(湛水区間)〕	進捗あり	瀬・淵再生事業として水制工をR5年度は1基設置。対岸砂州の全面の河床低下により、対岸砂州の冠水頻度が上がり、河岸侵食が発生することで二極化改善を期待しており、今後もモニタリングを継続する。
	23			ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川〕	進捗あり	整備された野洲川河口部のヨシ帯について、令和元年度に波浪対策を実施。その結果、令和5年度までにヨシ帯の面積が0.2ha増加した。また、令和5年度は良好なヨシの保全とヨシ帯面積の拡大を目指し、住民と連携してヨシ刈り及びヨシ移植を行った。今後もヨシ帯再生エリアのモニタリング調査・地域連携を継続して実施していく。
	24			内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗あり
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域(湛水区間)〕	該当なし	
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	進捗あり	洪水期前において、降雨による水位上昇後に急激な水位低下を抑制する瀬田川洗堰の環境に配慮した試行操作を継続して実施している。
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	進捗あり	琵琶湖の水位低下を抑制するため、琵琶湖からの下流用水補給において、瀬田川洗堰の放流量を1m <sup>3</sup> /s単位で調節するきめ細やかな操作を継続して実施している。
	28			流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし
	29	河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	進捗あり	瀬田川洗堰で放流量を調節することにより、琵琶湖周辺の洪水防御、淀川の洪水流量の低減、琵琶湖の水位維持、淀川の流水の正常な機能の維持並びに水道用水及び工業用水の供給を行っている。	
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	令和5年度は、琵琶湖、瀬田川、野洲川の24地点において、月1回の頻度で水質調査を実施し、調査結果等を滋賀県、水資源機構と情報共有を図った。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	進捗あり	琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。滋賀県、関係市、NPO法人、学識者、漁協等で構成される「琵琶湖外来水生植物対策協議会」にオブザーバーとして令和5年度において2回参加し情報共有、意見交換を行った。
	32			琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	進捗あり	琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。令和5年度は過年度と比較して全窒素の値が北湖および南湖で低く、透明度の値が北湖で高く、琵琶湖および瀬田川全体で水温が高い傾向であった。
	33	水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	河川の水質保全対策の取り組み内容	河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	河川における水質調査を瀬田川、野洲川で各1地点継続して実施し、水質監視を行っている。また、淀川水質汚濁防止連絡協議会の関係機関と情報共有を図り、令和5年度3件の水質事故に対応した。
34	ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数			該当なし		
35	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)			進捗あり	大戸川からの土砂流入に関する瀬田川の総合土砂管理方策の検討を、令和5年度に淀川水系総合土砂管理検討委員会にて行った。	
36	流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	完了			

■説明資料で取り上げた点検指標

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	点検結果
流域管理	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	野洲川河口部では、横断方向の連続性やヨシ帯を回復し、かつての自然環境を取り戻す自然再生事業を実施している。事業による河川環境の変化を把握するため、ヨシ帯の再生状況や再生したヨシ帯へのコイ科魚類等の産卵状況のモニタリング調査を継続して実施している。また、河川レンジャーのコーディネートのもと、地元中学生等ともモニタリング調査を実施するなど学習フィールドとして活用されている。 野洲川上流部において水制工を設置し、滞筋を蛇行させ瀬・淵を再生し、磯河原の復元を図り、アユ等の生息環境やカワラハハコ等在来植物の生育環境の創出に向けた自然再生事業を進めている。段階的な施工を進めており、学識者の助言も得ながら、河床の変動予測と現地でのモニタリング結果を踏まえ、水制工の配置や形状を適宜、見直しながら順応的に進めている。
	38		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	環境に配慮した工事の箇所について関係自治体と調整中。
	39		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	学生ボランティア団体との協働で、過年度より外来水生植物の駆除を実施してきたが、令和5年度は直轄外(高島市)での活動となったため協働できなかった。外来水生植物の繁殖拡大防止に寄与していることから、今後直轄河川での活動の際は協同で実施していく。※令和5年度NPO法人国際ボランティア学生協会協会(IVUSA)琵琶湖外来水生植物除去大作戦2023 実績:除去量5,440m <sup>2</sup> ・参加(IVUSA 78名・関係者 15名) 滋賀県、大津市、NPO団体、漁業協同組合等と連携を図り、外来水生植物駆除、藻刈りを令和5年度は瀬田川流域クリーン作戦を3回、瀬田川一斉清掃を1回の計4回実施した。外来水生植物の繁殖拡大防止に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。 淀川水質汚濁防止連絡協議会の関係機関と情報共有を図り、令和5年度3件の水質事故に対応した。
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	令和5年度は、「野洲川改修記念公園(守山市)」について、河川保全利用委員会での審議結果を踏まえた更新許可を行った。
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	平成24年度から人材育成として立命館守山中学校と職員で環境教育を継続して行っている。令和5年度も5月に行った。また、令和5年度は野洲川河口部ヨシ帯のヨシ刈り及びヨシ移植に職員が参加することで環境保全、自然再生の学習の場となった。
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	琵琶湖の水質調査に関して、滋賀県の公共用水域・地下水水質測定計画に基づき、滋賀県、水資源機構と連携を図りながら、北湖で10地点、南湖で12地点の水質調査を実施し、調査結果の分析・把握を行い、情報共有を図っている。
	危機管理体制の構築		43	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり
44		自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり		令和5年度に洪水対応演習、ホットラインによる情報伝達訓練を実施。(令和5年6月19日)	
45		ハザードマップの作成内容・フォローアップ	進捗あり		令和5年度に、瀬田川地域安全協議会を1回、野洲川地域安全協議会を1回開催し、沿川市のハザードマップのフォローアップを実施した。	
46		災害対応プログラムの作成内容	進捗あり		令和5年度に瀬田川及び野洲川の沿川市と、流域タイムラインを作成、有事に備えたタイムラインの共有を図った。これにより、関係機関(流域の県、市)と連携を促進する。	
47		地下空間の浸水被害への対応状況	該当なし			
48		水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり		瀬田川・野洲川の重要水防箇所の現地共同点検を実施(令和5年7月31日)。 令和2年度に瀬田川・野洲川水防連絡会に加盟している団体、自治体の水防担当職員21名に対し、排水ポンプ車や照明車を利用した操作説明を実施した。参加者からは「排水ポンプ車の大きさ、排水方法が分かり支援要請時に伝えるべき現地情報の重要性を理解した。」などの意見があり、防災活動の支援向上に寄与していることから、今後も継続して取り組んでいく。 令和5年度には滋賀県建設業協会28名に対し、排水ポンプ車、照明車、対策本部車について説明会を実施した。建設業協会との災害協定に基づく協力要請を行った場合に備え、災害対策用機械について理解して頂き、迅速な復旧活動を行うこと目的に今後も継続して取り組んでいく。 毎年、樋門等操作委嘱している瀬田川・野洲川地元操作員に対し、通常操作に加え緊急時操作や避難について説明および訓練を実施しており、令和5年度においても瀬田川では5月19日、野洲川では5月23日に行った。	
49		水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり		河川防災ステーションの整備に向け、関係自治体との調整を継続中。	
50		公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり		滋賀県が下水道施設の耐水化計画の検討するため、瀬田川の浸水想定区域図の解析データを提供して、耐水化検討の支援を行った。引き続き、浸水想定区域図の解析データを活用して支援を行う。	
51		水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり		瀬田川・野洲川の重要水防箇所の現地共同点検を大津市、大津市消防局、守山市、野洲市、栗東市、湖南市と実施(令和5年7月31日)。	
52		河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容		進捗あり	淀川流域治水協議会において令和5年度は流域治水プロジェクト2.0の策定、プロジェクトの進捗状況等について情報共有した。
治水・防災	53	堤防強化の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	瀬田川では、整備計画対策必要延長1.6kmの整備が完了し、洪水に対する堤防の安全性が向上。引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。 野洲川では、整備計画対策必要延長5.7kmの整備が完了し、洪水に対する堤防の安全性が向上。引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。	
	54		堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	該当なし		
	55		堤防天端舗装実施内容・延長	完了		
川の中で洪水を安全に流下させるための対策	56	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	瀬田川上流では、琵琶湖の後期放流に対応した1500m <sup>3</sup> /sの河道掘削が令和3年度で完了した。下流の鹿跳溪谷については、景観、自然環境の保全や親水性の確保などに配慮した河川整備を検討するため、有識者で構成する「瀬田川整備検討委員会」を設置し、対策方法を議論している。 整備計画の変更に伴い、大戸川ダム本体着手に向けた調査・設計とあわせ、ダム事業実施による環境への影響を検討するための調査等を実施。	
	57	河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	完了		
58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし		

■説明資料で取り上げた点検指標

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	点検結果	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	完了		
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	該当なし		
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし		
	62			陸間の確実な操作のための取組	該当なし		
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	完了		
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし		
	65			津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし		
	66			津波対策事業の実施	津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし	
	67			陸間の確実な操作のための取組	該当なし		
利水	68	慣行水利権の許可水利権化の実施	慣行水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っており、令和3年度から令和5年度の間に水利権許可の実績は2件あり。	
	69	環境に配慮した効率的な水利用の促進	効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。	
	70	安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	新規水源の確保内容	進捗なし	引き続き、安定した水利用のための水利権の見直しの必要性把握に努める。	
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	令和3年度に淀川水系渇水対応タイムラインの試行運用を開始し、渇水への対策とその時期について行動計画を作成した。令和5年度は引き続きタイムラインの試行運用を実施した。また、琵琶湖河川事務所渇水対策支部運営要領の見直しを行った。R5年の渇水の際は琵琶湖開発総合管理所渇水対策本部を設置した。	
利用	72	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)		舟運の取り組み内容	進捗あり	第一疎水の観光船の、びわ湖大津港までの延伸のため、第一疎水の閘門において、通過船舶の指定の変更を行った。	
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	河川巡視や河川愛護モニターによる報告内容に基づき、ゴミの除去や利用者への注意喚起等を行っている。	
	74	川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	6月1日に瀬田川管内、6月14日に野洲川管内にて安全利用点検を実施した。立入禁止区域としている野洲川落差工については、沿川の幼稚園・小学校等に水難事故啓発チラシを配布するとともに、夏季の特別巡視を行い、水難事故の発生防止に努めている。令和5年度においては水難事故は発生していない。	
	75	川らしい利用の促進	「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	野洲川において、地元住民、自治体や企業等を対象として、河川清掃やEポートによる中洲探検等の親水イベントを通じた環境・防災学習を実施しており、令和4年度は約630名の方に参加いただいた。環境・防災意識の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。 野洲川河口部ヨシ帯は、立命館守山中学校の環境学習フィールドとなっており、令和5年度においても、立命館守山中学校と連携して、水生生物調査を継続して実施した。生徒たちからは「ヨシ帯が琵琶湖にとって重要であり、魚類の産卵・生育場としても重要で欠かせないものであると改めて感じた」という感想をいただき、環境教育の向上に寄与していることから、今後も引き続き実施していく。また、毎年、水生生物調査を小中学生対象に瀬田川及び野洲川で実施している。令和5年度は7月に野洲川で地元中学生と8月に瀬田川で地元住民と行った。「生物採取や簡易水質調査をすることにより環境に興味がわいた。」などの感想をいただいた。環境保全意識の向上に寄与していることから、こちらも引き続き実施していく。	
	76	陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)		河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	令和5年度は、「野洲川改修記念公園(守山市)」について、河川保全利用委員会で審議した。	
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	野洲川堤外民地の県管理時代からの住居等について、拡大防止に努めつつ、まずは境界確定から取り組んでいる。令和5年度には境界不調のままであった。瀬田川の県管理時代からの住居付属物の不法占用については、機会を捉えて是正指導を図るべく、状況を注視を続けている。令和5年度には是正状況に進捗はなかった。	
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり	野洲市MIZBEステーションかわまちづくり計画について、国・県・市が連携し事業化に向け調整を図っており、計画登録を目指している。	
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗あり	令和5年度に瀬田川左岸74.1k付近のハンドホール補修を実施。	
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	河川巡視により、令和5年度においては不法駐車等の違法行為が291件見受けられた。	
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	栗東市伊勢落地先にて、違法焼却ゴミ跡を確認しており、毎月状況をモニタリングしている。なお、ホームレス等は確認されていない。	
82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	進捗あり	地域協議会において平成18年度にとりまとめられた「瀬田川のあるべき姿」に基づき、維持管理について、水辺利用、景観、植生の維持を地域住民と共に協働支援している。		
83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	進捗あり	地域協議会において平成18年度にとりまとめられた「瀬田川のあるべき姿」に基づき、維持管理について、水辺利用、景観、植生の維持を地域住民と共に協働支援している。また、安全利用点検に基づき野洲川堤防には転落防止策を設置した。野洲市MIZBEステーションかわまちづくりは、「河川空間」と「まち空間」が融合した地域の賑わいを創出する場として整備できるよう、関係機関と事業化に向けた調整を行っている。		

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	令和5年度点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	令和6年3月に、住民参加による桂川流域クリーン大作戦を開催した。2,094名が参加した。また、地域住民、学生団体と連携し、桂川の貴重種の保全活動、外来種防除、河川清掃などの活動を定期的に実施した活動回数28回、2473名が参加した。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	淀川河川公園大山崎地区では、繁茂する竹林の伐採作業や、ワンドでの外来種防除活動を定期的に実施している。地元企業の協力のもと、伐採竹をチップ化して観察路を造成し、ヒメボタルの観察などで自然環境を体感できる場づくり等の川づくりに関する活動を行った。参加者からは「竹の伐採だけでなく、再利用まで体験できて見識が広がった。また、竹の花の見学等楽しみの工夫もされていて、面白い活動内容でした」「活動の楽しさだけでなく、環境の知識も深めることができた」等の意見があった。そのほかの活動等を含め、活動全体を通じて、延べ225団体(住民団体187、行政関係12、学校関係26)と連携を行った。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、令和5年度で 229回(桂川では37回)、住民等と交流を行った。
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	令和5年7月に渡月橋にて、中高生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	河川に係わる身近な情報(工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど)をホームページやSNS(Youtube、Facebook、Twitter)で、継続的に情報発信している。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	地区総合防災訓練に出展して、水害時の避難行動をクイズ形式などで考えやすく工夫し、対話を行った。自主防災会役員からは「・住民の方の意見で検討する課題が新たに見えたことがあった。(水災時のペット避難)住民の方への情報共有が課題と感じていた。また検討します」との意見があった
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	残整備区間については、改修事業等と併せて実施。令和5年度は実績なし。
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	淀川河川公園大山崎地区において、公園利用者の安心・快適な公園利用を図るため、多目的広場の外来性植物駆除や害虫駆除等を実施した。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	進捗あり	大山崎地区において、淀川河川公園の歴史・魅力紹介及び公園利用への利用案内・注意喚起のため、サイン看板の設計を行った。引き続き、JR大山崎駅にて、淀川三川さくらレンタサイクルを実施した(R6年1月末まで)。
	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	京都府域において、「まるごとまちごとハザードマップ」を令和5年度には64箇所追加設置。(長岡京市で21箇所追加設置。)それにより、京都府域での設置箇所は393箇所となった。
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	毎年度定期的に協議会(水害に強い地域づくり協議会)を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。なお、令和5年度は首長会議1回、行政WG1回、ブロック別会議1回、鉄道WGを1回開催し、関係機関との連携を図った。また、協議会を通じて、流域タイムラインを作成しており、令和5年度より運用を行っている。
	12		上下流の連携の構築	上下流交流の促進	進捗あり	毎年度定期的に水源地域ビジョン連絡会を開催することにより、関係機関との連携を強化している。コロナ禍で中止となったイベント、縮小した内容はあるものの、日吉ダム(インフォギャラリー)見学者やダム下流のスプリングスひよしへの来館者は増加傾向であり、引き続き、ダム見学会等を通じて、上下流域の連携に取り組む。
環境	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンパラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)〕	該当なし		
	14		ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	該当なし		
	15		オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域(盆地～源流部)木津川〕	該当なし		
	16		アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	該当なし		
	17	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	令和4年度末に「鳴く虫がつかぐ桂川流域生態系ネットワーク協議会」が設立され、令和5年度も引き続き継続して検討を行っている。
	18	外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	令和5年度に調査を実施。特定外来水草であるナガエツルノゲイトウ、オオバナミズキンバイが確認されたため、維持管理作業、河川レンジャーとの連携により駆除作業を行った。除去対象種面積は合計で34,547m <sup>2</sup> であった。	
	19	良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし		
	20		河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	桂川における不法耕作は、令和元年度以降は約2.9万㎡で推移している。例年、桂川松尾橋周辺ではバーベキュー利用者が多かったが、R5年度はコロナ禍及び河道掘削工事のためバーベキュー利用者が少なく、地元からの苦情は減少したが、継続的にバーベキューのゴミ等の不法投棄をやめるようチラシの配布など注意・啓発活動を実施した。	
	21		ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川〕	該当なし		
	22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域(湛水区間)〕	該当なし	
	23		ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川〕	該当なし		
	24		内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖・流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗あり	令和5年度は、撤去後3年目となる桂川1号井堰について、魚類、底生動物、植物相、植生、鳥類、カヤネズミの調査を行った。
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域(湛水区間)〕	該当なし	
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	28			既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし	
	29			河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当なし

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	令和5年度点検結果		
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。		
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし			
	32		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし			
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	令和5年度に桂川 渡月橋地点で水質調査(BOD)を実施。水質調査結果の平均値は0.5mg/Lであった。		
	34		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	該当なし			
	35			河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	該当なし			
	36			土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし			
	37			モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	0.6k~18.6k区間で、瀬・淵及び重要環境モニタリング箇所を設定し、魚類、底生動物、植物相、植生、鳥類、カヤネズミの調査を行っている。	
	流域管理に向けた継続的な施策展開		38	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	淀川環境委員会の指導・助言を得ながら生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し適切に工事を施工している。令和5年度、淀川環境委員会に諮った工事件数は24件であった。(うち桂川は4件)	
			39	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	桂川嵐山地区で整備され、令和3年から運用を開始した「左岸溢水対策(可動式止水壁)」が、嵐山における景観価値保全と治水機能向上の両立が高く評価され、2023年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞した。	
40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	令和6年1月に京都市建設局が管理する「宮前橋環境保全調査」現地指導において、環境委員に現地を確認頂き、希少植物の移植に対する指導・助言を実施した。			
41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	生物の良好な生息・生息環境に配慮し、美しい自然環境を保全、創出するための「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」を毎年開催している。整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の知見の蓄積や意識の向上を目的としている。			
42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	毎年簡易水質調査を実施している。令和5年度も水生生物による簡易水質調査で水質階級を判定し、経年変化を調査・把握し、データの蓄積を行っている。			
治水・防災		43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	河川レンジャーが自治体、自治会、学校等と連携し、河川管理施設の見学や、出前授業でマイ・タイムライン作成指導を行った。令和5年度は4回実施、306人が参加した。	
	44	自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制			進捗あり	令和5年度に、前線による大雨時、水害に強い地域づくり協議会の担当者とWEB会議で気象状況や水位予測等についての情報共有を行った。		
	45	ハザードマップの作成内容・フォローアップ			完了			
	46	災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)			進捗あり	事務所HPIにて、マイ防災マップ作成オンライン学習動画を掲載している。令和5年度は市町村への支援としてマイタイムライン等の作成支援を行った。また、水害に強い地域づくり協議会にて、要配慮者利用施設での避難訓練の実施に向け訓練実施状況等の周知を行った。		
	47	地下空間の浸水被害への対応状況			進捗なし	市町村防災会議や地域防災計画更新の際に、地下空間への浸水対策に関する助言や技術的支援を行う。令和5年度は実績なし。		
	48	水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承			進捗あり	2023淀川水防連絡会(水防に関する情報共有・意見交換等)を関係機関・水防事務組合と合同で実施。		
	49	水防拠点整備の内容・箇所数			進捗あり	令和3年度に、淀川・宇治川・桂川・木津川における「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。全体計画の中で、中核施設として位置づけている整備箇所について、関係市町と協議を進めている。		
	50	公共施設の耐水化等の支援内容			進捗あり	自治体が管理する施設等にまるごとまちごとハザードマップ設置の支援を行い、各地域の浸水被害に対する危険度を周知している。		
	51	水害に強い地域づくりに向けた取組内容			進捗あり	京都府域において、「まるごとまちごとハザードマップ」を令和5年度には64箇所追加設置。(長岡京市で21箇所追加設置。)それにより、京都府域での設置箇所は393箇所となった。また、出前講座やマイタイムラインの作成支援等も継続的に行っており、令和5年度は大山崎町で実施した。		
	52	河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施			流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	令和2年度に淀川流域治水協議会を設立し、協議会の中で淀川流域治水協議会淀川(京都府域)分会を設置。令和5年度は、流域治水プロジェクト2.0や水害リスクの自分事化、流域治水に関する取組について情報共有した。	
	53	堤防強化の実施			堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。
	54					堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	進捗なし	残りの侵食対策については、今後の調査検討を踏まえ、整備予定。令和5年度は実績なし。
55	堤防天端舗装実施内容・延長		完了					
56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	令和度に可動式止水壁による左岸溢水対策が完成。これにより上流の亀岡市域の霞堤嵩上げ等の整備が推進。			
57	河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水水位の低減	整備による効果		進捗あり	令和3年度に可動式止水壁による左岸溢水対策が完成したことで平成16年洪水を嵐山地区で溢れずに流すことが可能となった。引き続き、河川整備を実施することで、平成16年洪水を安全に流下させる。また、整備効果の把握に努める。			
58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし				
59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし				
60	既存ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗あり	日吉ダムでは令和5年度、3回の洪水調節を行い、ダム下流河川水位の低減に貢献した。			

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	令和5年度点検結果	
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし		
	62			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし		
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗あり	各施設の耐震性能照査を実施し、要対策施設について対策内容を検討している。	
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	完了		
	65			津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし	
	66				津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし	
	67				陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っている。令和5年度の水利権許可の実績は0件。	
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダムの貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。	
	70	安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗なし	引き続き、安定した水利用のための水利権の見直しの必要性把握に努める。		
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	日吉ダムでは令和5年度、淀川水系渇水対応タイムライン(試行運用)に基づき、10月23日より日吉ダム管理所渇水対策本部を設置し11月4日一次取水制限、12月6日二次取水制限、12月22日三次取水制限、12月27日四次取水制限を行った。翌2月8日水位回復に伴い制限緩和を行い2月22日取水制限解除および渇水対策本部を解散した。	
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	該当なし		
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	現在、不法係留は確認されておらず、引き続き、秩序ある水面利用を促す。	
	74	川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに5箇所の補修を実施した。危険箇所における注意喚起看板の設置や水難事故防止の教育等を行ったこともあり、利用者が増加するゴールデンウィークや夏休み期間において無事故であった。		
	75	「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	令和5年7月に渡月橋にて、中高生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。		
	76	川らしい河川敷利用	陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	桂川の高水敷利用について、R5年度は審議対象となる公園はなかったが、占用地の適正な保全・利用の確認するため、別途、桂川情報共有会議を開催した。その中で環境保全を意識した管理について、占用に指導・助言を行い共通認識を持つことができた。	
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	桂川においては、不法耕作は、令和元年度以降は約2.9万㎡で推移している。不法占用地における工作物に対しては、現地にて行為者への是正指導を粘り強く行い、行為者自身による一部撤去が行われた。	
	78			水辺の整備内容	進捗あり	平成21年度にかわまちづくり支援制度が創設され、河川管理者がハード・ソフト面での支援を行っている。	
	79	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	河川管理道路を活用し自転車道として占用された自治体において、周辺地域間とのネットワークが形成されている。令和5年度での整備実績はなし。	
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	桂川松尾橋周辺においてはバーベキュー利用者が多く、大量のゴミが放置される事態となっているが、R5年度はコロナ禍の影響もあり、苦情は少なかったが、引き続きチラシの配布や看板設置、巡視によりバーベキューのゴミを持ち帰ってもらうよう注意・啓発活動を継続し、ゴミの発生量は減少傾向にある。	
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	桂川管内では、2名のホームレスが起居していたが、これまで定期的に巡回を実施したことにより、令和5年度までに2名が退去し、現時点での起居者なし。	
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	進捗あり	嵐山地区の左岸溢水対策が完成。引き続き、「一の井堰改築」「堰改築を含む派川改修」についても、検討委員会や地元連絡・検討会を開催し、学識経験者および有識者や地元からの助言等を踏まえ、景観や利用に配慮し検討を進める。また、令和5年度には「史跡」及び「名勝」嵐山における左岸溢水対策において、嵐山における景観価値保全と治水機能向上の両立が高く評価され、2023年度グッドデザイン賞を受賞した。	
83	水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容			進捗あり	今後、河川空間の利活用ニーズの高まりにより地域や市町村からかわまちづくり等に対する要望等に応じて、調整・連携を図っている。		
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	令和3年度に日吉ダムにおいて、ダム施設及び貯水池が適切に維持管理され良好な状態に保持されているか等を検査するダム定期検査(3年毎)が実施され、全体的に問題のないことが確認されている。次回は、令和6年度の予定。また、堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施。抽出された変状毎の2次評価結果では、令和5年度末時点で、予防保全段階53箇所、措置段階0箇所となっている。	
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗あり	日吉ダムは、管理開始から26年が経過しており、計画堆砂量8,000千㎡のうち、令和5年度末における堆砂量は約2,600千㎡であり、堆砂率は約33%となっている。令和5年度、ダム上流部において約2千㎡の堆砂除去を実施。	
	86	許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、令和5年度は橋梁、樋門等許可工作物57施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち要監視段階が18施設、予防保全段階が11施設あった。		
	87	河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	桂川全体で令和4年度～令和5年度にかけて、51,000千㎡伐採した。このときの伐採箇所はすべて流水障害対象樹木群であった。これにより、伐採区間については河道流下断面が確保できた。		
	88		堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	河道内堆積土砂の管理については、定期的及び出水後の河床変動状況を把握するため、縦横断面測量等モニタリングを実施。		
89	ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容		進捗あり	河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努める。淀川河川事務所管内では、令和4年度で約140㎡、令和5年度で約160㎡のゴミを処理。			



淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの人と川とのつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	令和5年度は、「川に関心を持ってもらう」に関する取り組みとして出前講座や防災教育等を17件、「川にふれてもらう」に関する取り組みとして水生生物調査や体験学習等を12件、「川をともに考える」に関する取り組みとして意見交換会や河川清掃等を11件実施しており、川や環境へ興味・関心を持つ機会を設けることができた。今後も引き続き人と川をつなぐ取り組みを実施していく。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	猪名川クリーン作戦は、令和5年度には、猪名川運動公園事務所前(池田市)等18地点で猪名川クリーン作戦が実施され、参加者から、「川辺や人目につかないところにゴミが多い」や「今後、実行委員会事務局がなくても自発的にクリーン作戦の開催が実現できればという思いがある」等の声が寄せられている。昨年度と比べ参加者が減少しているが、活動に意義を見出していることがうかがえることから、このような取り組みを継続していく。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	令和5年度は、河川レンジャーは4人、協力が員が2人の体制となっている。令和4年度は、河川レンジャーは5人、協力が員が2人であったことから、河川レンジャーが1人減少している。河川レンジャーを増やすために、河川レンジャーの募集を3月から5月にかけて「猪名川河川事務所HP」、「河川レンジャーHP」や「チラシ」等を通して募集している。河川レンジャー主催の「猪名川川いーな」で、猪名川の魅力を表現した「写真」と「絵画」を募集し、イオンモール伊丹(伊丹市)等5施設での展示・表彰や出前講座を行い、レンジャー活動を発信している。
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	猪名川流域の小・中学校からの要望に応じて、猪名川の自然環境についての出前講座等の環境教育を実施しており、令和5年度は3回実施した。子供たちに川で水生生物調査、バックテスト等の体験学習をしてもらうことで、「実験ができて面白かった」や「猪名川についてよく知れた」等好評であった。また、水環境交流会を昨年度まで新型コロナウイルスの影響で開催を見送っていたが、4年ぶりに開催。体験ブース(3団体、6ブース)とパネル展示(3団体3ブース)を出展し、多くの子供たちに猪名川の水環境の現状や取り組みに関する情報発信を行った。今後も、これらイベントによる子ども達への環境教育を実施していく。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取組	進捗あり	猪名川河川事務所ホームページによる配信の他、SNSによるインスタグラム(平成30年度より)、X(令和元年度より)による配信を行っている。スマートフォンの利用も含め、いつでも、どこでも、誰でも手軽に情報を入手しやすい環境づくり等の取り組みを推進していく。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民、住民団体との交流内容	進捗あり	令和5年度は、猪名川と活動団体の「あかんとこ」について意見交換会を開催し、「猪名川のあかんとこ」はゴミ投棄、外来種、河川利用のマナー等、「活動団体のあかんとこ」はメンバーの高齢化、中心的な人材の不足、団体の認知度の低さ等の意見が挙げられた。改善方法として、「ゴミや外来種等の課題があることを流域の住民に広く知ってもらい、子供や一般市民が参加しやすい方法で協働して、具体的な改善策を実施する」ことが望ましいとの認識を共有している。
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	令和5年度は実績なし。改修事業に併せて必要に応じて実施していく。
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	河川を安心して利用できるように、占有者にて公園施設の計画的な補修等を行っている。令和5年度は、東園田橋(尼崎市)付近の堤防川裏側の既設階段を4箇所嵩上げしたことで、堤内地から安全に河川へアプローチできるようにし、利用者の安全性の向上に寄与している。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	該当なし	
	10		洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数	進捗あり
11	関係機関との連携	協議会等との連携内容		進捗あり	「猪名川・藻川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」では、令和5年度は、猪名川・藻川の大規模氾濫を前提とした減災に係る取組方針について、流域タイムラインの運用方法や多機関連携型タイムラインの作成・活用等について参加機関と情報を共有した。また、「猪名川・藻川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」の参加機関と連携した取り組みを行うことにより、河川管理者間の地域防災力向上に向けた共通認識を深めることができた。今後も引き続き参加機関との連携を強化し、洪水時等における円滑かつ迅速な避難確保に向けた取り組み等を実施していく。	
12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	進捗あり	一庫ダム水源地域ビジョン推進協議会主催の流木ペインティング大会は、ダム湖に流入した流木を有効活用して芸術作品を創作するとともに、会場周辺のゴミを拾って美しい猪名川・知明湖の再生を目指すイベント。(令和2年～令和4年)令和3年8月1日(日)には知明湖キャンプ場にて参加者27名、令和4年7月31日(日)には一庫ダム管理所にて参加者30名、令和5年7月30日(日)には一庫ダム管理所にて参加者37名にて開催。(H19年より毎年開催計17回)一庫ダム内部見学&説明会は、能勢電鉄山下駅から一庫ダムまでのハイキングの後、ダム見学及び説明会を行うイベント。広報誌やHPによる募集を行っている。令和3、4年度はコロナ禍のため中止したが、令和5年度は令和5年8月27日に参加者約150名にて開催。(H18年より計16回開催)流木ペインティング大会は、廃棄物となる流木を使って芸術作品を作り、利用者からも「きれいな流木はなかなか手に入らないので、普段あまり経験できない体験ができた。」など好評を得ている。今後もダム湖周辺におけるマラソン大会など関係機関と連携し、下流域の住民等とダム施設との関わりを深めるイベントとして実施していく。	
多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンパラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数	該当なし		
	14		ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容	該当なし		
	15		オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容	該当なし		
	16		アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所	該当なし		
	17	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	簡易魚道が破損している三ヶ井井堰において、猪名川自然環境委員会の縦断連続性の回復の結果を基に、三ヶ井井堰の簡易魚道の復旧を行っている。今後の魚道整備としては、魚道の入り口に魚類が確実にアクセスできるように、本魚道を設置してもらいたいとの意見を頂いたことを踏まえ、今後の河川環境整備の方針を検討していく。	
	18	外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	令和5年度は流域意見交換会を通して、猪名川流域の外来種に関する意見交換を行った。外来種対策の方針として、「ゴミや外来種等の課題があることを流域の住民に広く知ってもらい、子供や一般市民が参加しやすい方法で協働して、具体的な改善策を実施する」ことが望ましいとの認識を共有した。また、河川レンジャーの協力のもと、猪名川の外来種に関する出前講座を行うとともに、ヒメボタルの生息環境保護のため、日常的に外来種駆除に取り組んでいる。	
	19	良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容	該当なし		
20		河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	猪名川の直轄河川管理区間における不法投棄について、令和5年度は約14㎡の不法投棄ゴミ等を処分した。今後も引き続き、投棄箇所での警告看板による啓発を実施するとともに、投棄が発生する前の事前の対策について、現場における取組の中で検討していく。		
21		ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数	該当なし			

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	点検結果
環境	22	河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所	該当なし	礫河原再生実施箇所において、令和3年度までに、北伊丹地区(伊丹市)、桑津橋地区(伊丹市)、猪名川大橋地区(川西市)で累計面積42,900㎡の整備をしたことにより、礫河原再生事業が完了し、令和4年度の完了モニタリングの結果、事業効果の発現が確認されていることから、今後も引き続き事業効果の発現が継続するよう、河原環境の保全・創出を図っていく。
	23			干潟・ヨシ原の保全・再生内容・面積	進捗あり	
	24		内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖-流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	完了	
	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容	該当なし	
	26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容	該当なし	
	27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容	該当なし	
	28	川本来のダイナミズムの再生	流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数	進捗あり	一庫ダムでは、一庫ダムから猪名川本川合流点までの5km区間の一部について減水区間が生じ、魚類の生息等に必要な流量が不足する状況がみられたため、平成18年度からダム下流の流況改善を目的として弾力的管理試験を実施している。ダム下流で環境改善の指標種としているオイカワについて、土砂還元と弾力的管理試験を開始して数年が経過した平成18年度以降、年によって増減はあるものの、個体数は増え、一庫ダム下流の実験区におけるオイカワ個体数は令和3年は665匹、令和4年は519匹、令和5年は381匹となっている。
	29	河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	進捗あり	平成26年から令和5年の10年間ににおける小戸地点の流量(令和5年は暫定値)は86%の日数で正常流量(1.4㎡/s)を満たしている。令和5年では、約99%の日数で正常流量を満たしていることに加え、期別の取水計画に基づいて、一庫ダムより必要な水量を補給することにより、利水及び環境への深刻な影響を回避することができている。	
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	毎年開催している「神崎川水質汚濁対策連絡協議会 猪名川分科会」の分科会メンバーである猪名川流域の河川管理者、自治体及び住民・住民団体等が連携し行動することにより、令和6年7月に公表された令和5年近畿地方一級河川の水質実況では、猪名川の水質改善幅が7年連続で全国第1位を記録するなど、猪名川の水質向上に大きく寄与していることから、新たな水質浄化の取り組みまでには至っていない。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容	該当なし	
	32			琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果	該当なし	
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	猪名川の水質BODの年75%値は、令和5年の値では、銀橋から猪名川橋までの全6区間で環境基準を満たしている。猪名川流域の人々に河川愛護や水質問題に関心を持ってもらうことを目的に、令和5年には、猪名川の水質愛護セミナー(年1回、こんやく橋(川西市)、池田床園下流(川西市)、桑津橋(伊丹市)の3箇所)、小学校への出前講座等(11回/年)を実施した。猪名川愛護セミナーのアンケート結果では、「子どもが環境について考える良い機会になった」等の意見が得られ、河川環境への知識の習得機会を設けることができた。今後も引き続きこれらのイベントを継続して実施していく。
	34	ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	進捗あり	一庫ダム(水資源機構)では、選択取水設備、平成23年4月より浅層曝気循環設備4基、平成24年4月より深層曝気設備(浅層曝気併用型)2基を運用するとともに、ダム貯水池水質調査要領に基づき、平成29年度以降も継続して、月1回の頻度で貯水池水質のモニタリング調査を行っている。一庫ダムでは、浅層曝気循環設備及び深層曝気設備(浅層曝気併用型)の運用後、平成24年以降は景観障害となるような大規模なアオコは発生しておらず、令和2年から令和5年は、貯水池内でアオコの発生はあるものの、ダムサイトや流入端など小規模の発生に留まっている。選択取水設備の運用もあり、下流利水者からカビ臭や濾過障害等の報告もなされていない。		
	35	流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	進捗あり	令和2年度の定期横断測量結果等を反映した土砂動態マップでは分派地点より上流で2.2万㎡/年の土砂堆積傾向、同じく分派地点より下流で0.2万㎡/年の堆積傾向となっている。一庫ダム(水資源機構)では、平成15年度から下流河川環境改善のために洪水期への移行操作期間(例年5月)にフラッシュ放流による土砂還元を実施している。一庫ダム(水資源機構)において土砂動態の実態把握のためのモニタリングとして、貯水池の堆砂調査を継続して実施。ダム完成後41年の令和5年度時点において、堆砂率は約34.8%となっている。猪名川においては、土砂動態マップ作成からの知見を活用し、今後、土砂管理において、効率的な方法を総合土砂管理委員会で議論していく。一庫ダムにおいては、今後の状況によって堆砂除去等適時検討していく。	
	36		土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし		
	37	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	礫河原再生モニタリング調査では、航空写真等を含む定点写真により、礫河原再生施工箇所である北伊丹地区軍行橋(伊丹市)付近の地形変化を把握している。平成21年度及び平成24年度の工事完成後、平成25年度の大規模出水等を受けて自然裸地が拡大した。平成29年度の工事後にも、平成30年7月豪雨や令和2年7月豪雨や令和5年5月豪雨など、平均年最大流量規模を超える出水を受け、現在でも自然裸地は維持されている。	
	38	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	ヒメボタルの生息範囲(利倉地区(豊中市)及び軍行橋下流(伊丹市))にハリエンジュ(外来植物)が分布している。ハリエンジュ(外来植物)を駆除するにあたり、ヒメボタルへの影響を回避するために環状剥皮による駆除・モニタリングを令和元年度より行っている。令和5年度では、有識者へのヒアリングを行っており、再萌芽の伐採や癒合部の除去を行ったことでハリエンジュの枯死率が約30%から約90%に増加していることが確認されている。今後も引き続き未枯死のハリエンジュを対象に再萌芽の伐採等を実施するとともに、既に枯死したハリエンジュの樹木伐採を実施していく。	
	39	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	沿川自治体、NPO、住民団体、企業等との連携・協働(18団体68名)による水質一斉調査等を実施し、猪名川町環境交流館前から神崎川までの区間(40地点)で水質が「良い」と判定された地点の比率は過去5年間、80%以上の高い状態を維持しており、流域の広い範囲で良好な水質が保たれていることが確認された。住民・住民団体と連携して活動を行ったことにより、河川環境への関心を流域の住民に広めることができた。今後も引き続き、連携を強化し充実していく。	
	40	流域管理に向けた継続的な施策展開	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	淀川水系猪名川及び藻川の猪名川河川事務所直轄区間において、周辺環境及び地域特性を考慮しつつ川らしい自然環境を保全・再生する観点に立って、公園等の占用施設の新設及び更新許可にあたって意見を述べることを目的として、平成21年度から「猪名川・藻川河川保全利用委員会」による議論を実施している。河川環境保全について、令和4年度の河川保全利用委員会において、施設管理者に対する意見が提言された。 ・チガヤの保全対策を進めるとともに、植生管理(オガルカヤ・メガルカヤ等の貴重種の保全や、シナダレスズメガヤ・セイバンモロコシ等の外来種の除去)を適切に実施していただきたい。 ・堤防の裏法面において運動広場の利用に伴う踏み荒らし等の堤防損傷が発生していることについては、引き続き占有者から使用者に適切な利用について指導をしていただきたい。

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	点検結果		
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	令和5年の猪名川愛護セミナーは、こんにやく橋(川西市)、池田床固下流(川西市)、桑津橋(伊丹市)の3地点で同時開催し、参加者に水生生物調査、人の感覚による水質調査、簡易水質試験(バックテスト)の体験学習を行っている。若手職員も積極的に参加し、河川環境に対する知識の習得機会を創出することができた。		
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	チガヤ群落は耐侵食性に優れており、治水面・環境面の両面からの効果が期待できることから、令和5年度にチガヤの基本的な生態情報、保全に有用な事例及び猪名川堤防法面のチガヤ群落の分布状況等を整理するとともに、施工業者が実施可能な保全方法を検討し、チガヤ保全の手引き(案)をとりまとめた。なお、堤防法面のチガヤ群落の保全例は知見に乏しいことから、今後の工事で実施した成果を踏まえて、チガヤの保全方法の改善を図っていく。		
治水・防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	近年では、猪名川の河川整備が進展しているとともに、内水氾濫が起きるような大規模災害は発生していないため、災害体験者からの災害状況の聞き取りはない。防災意識の啓発については、令和5年度では、マイ・タイムライン作成講習会や防災訓練をテーマとした出前講座等を実施しており、今後も引き続き住民の防災意識を高める啓発活動を実施していく。		
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	猪名川流域の5市では、猪名川の水位情報をリアルタイムに確認することができるよう、市庁舎内等に光ファイバーを利用したカメラ映像、雨量情報等を確認出来る端末を設置している。令和5年度には猪名川流域の3市において、情報伝達体制を含む地域防災計画の見直しを実施した。		
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	進捗あり	猪名川・藻川洪水浸水想定区域図(平成28年6月公表)をもとに、猪名川流域の5市でハザードマップを更新・公表している。令和5年度には、川西市及び尼崎市にて見直しが行われている。		
	46			災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	進捗あり	令和5年度では、住民の避難計画「マイ・タイムライン」の普及に向け、尼崎市東園田町6丁目地区を対象としたマイ・タイムライン作成講習会を、尼崎市立東園田町総合会館で開催し、東園田町6丁目地区の住民16名が参加した。また、尼社協ほっと館でも開催し、尼崎市災害ボランティアネットワーク連絡会会員所属団体のメンバー20名が参加した。これからもマイタイムラインを普及する講座を重点的に開催していく。		
	47			地下空間の利用者及び管理者への情報伝達体制整備内容	該当なし			
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	「猪名川水防連絡会」では、毎年のお水期前に、円滑な水防活動による水害防止または軽減することを目的として、関連機関とともに現地合同点検及び連絡会議を実施している。令和5年度は、令和5年5月7日から8日にかけて大雨による天神川の堤防決壊における現地での対応状況の報告を兵庫県宝塚土木事務所、伊丹市、伊丹市消防局、伊丹警察署から頂き、事務所からは令和5年6月1日から2日に発生した台風第2号に伴う大雨による近畿地方の河川の概要について報告した。今後も引き続き関連機関と連携・協働し、水防意識の向上を図っていく。		
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	完了			
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	公共施設の耐水化については、想定最大規模の洪水により、園田出張所が浸水するリスクがあるため、令和5年度に、庁舎の浸水対策設計を行っている。		
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	「猪名川・藻川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」では、令和5年度は、猪名川・藻川の大規模氾濫を前提とした減災に係る取組方針について、流域タイムラインの運用方法や多機関連携型タイムラインの作成・活用等について参加機関と情報を共有した。また、「猪名川・藻川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」の参加機関と連携した取り組みを行うことにより、河川管理者間の地域防災力向上に向けた共通認識を深めることができた。今後も引き続き参加機関との連携を強化し、洪水時等における円滑かつ迅速な避難確保に向けた取り組み等を実施していく。		
	52			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	令和5年度は、淀川流域治水協議会において、流域治水プロジェクト2.0や水害リスクの自分事化、流域治水に関する取り組みについて情報を共有した。今後も引き続き更なる流域対策の進捗に努めるとともに、推進方策等について、猪名川流域総合治水対策協議会の中で議論していく。	
	53			堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	猪名川では、「島の内水害に強いまちづくりプロジェクト」の主な対策内容である堤防拡築を進めており、令和5年度では、尼崎市東園田地区において、約0.6kmの堤防拡築を実施した。今後も引き続き、島の内地区の水害リスクの軽減を図るため、堤防強化を進めていく。
	54					堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	該当なし	
55	堤防天端舗装実施内容・延長	進捗あり	令和5年度は、橋梁との接続部で堤防天端舗装約0.1km実施している。今後も引き続き堤防拡築部で堤防天端舗装を実施していく。					
56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	猪名川では、上下流バランスの観点から、下流神崎川や安威川ダムの上流事業進捗を踏まえ、上流兵庫県管理区間及び直轄管理区間の整備時期等について、兵庫県・大阪府と調整を図りながら事業を実施している。			
57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	令和3年8月に変更した河川整備計画に基づき、上下流バランスに配慮しながら、戦後最大洪水である昭和35年台風16号洪水の降雨量を1.1倍とした洪水を安全に流下させる河道掘削に着手し、令和5年度では、尼崎市戸ノ内地区において、約1.0万㎡の河道掘削を実施した。			
58	高規格堤防の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし				
59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし				
60	既設ダム等の有効活用	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗なし	平成30年7月豪雨において異常洪水時防災操作を行ったことを受け、計画規模を上回る洪水等が想定された場合に、予め一庫ダムの貯水水位を下げておく事前放流を令和元年9月1日から実施している。令和5年度は事前放流および洪水調節の実績なし。			
61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし				
62			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし				

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	点検結果	
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗あり	猪名川では管内の樋門3基及び排水機場1基が耐震対策の対象となっており、対策については、指針の改定等の対応のための再調査及び対策設計を令和4年度から行っており、直轄3樋門で耐震性能が満足していない結果となったことから、令和5年度に、耐震性能を満足しない部位について、耐震補強工の詳細設計を実施している。	
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし		
	65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	進捗あり	猪名川流域内の津波浸水が想定される尼崎市及び豊中市において、尼崎市が平成26年12月に、豊中市が平成27年4月にそれぞれ津波ハザードマップを公表したことにより、猪名川流域内の市町全てで津波ハザードマップが作成され、尼崎市では、令和5年度に更新を行っている。	
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	完了		
	67			陸開の確実な操作のための取組	該当なし		
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っており、令和3年度から令和4年度の間に水利権許可の実績は2件あり。	
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダムの貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。	
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗なし	令和4年度に川上ダム建設事業、天ヶ瀬ダム再開発事業については事業を完了した。引き続き、安定した水利用のための水利権の見直しの必要性把握に努める。	
	71		渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	令和3年度に淀川水系渇水対応タイムラインの試行運用を開始し、渇水への対策とその時期について行動計画を作成した。令和4年度は引き続きタイムラインの試行運用を実施した。
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	該当なし		
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	不法係留船は管内に1隻確認しており、所有者に対して移動を指導中。	
	74	川らしい利用の促進	「川に活かされた利用」の実施	川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容	進捗あり	令和5年度に行った河川巡視による安全利用点検の結果、補修が必要な箇所は確認されなかった。猪名川河川事務所ホームページ内の子ども用サイト『い〜なネットキッズ』において「川あそびのちゅうい」を掲載し、いなプロ(猪名川自然再生プロジェクト)等出前講座を通して、子どもたちの川遊びにおける注意喚起を行っている。令和5年度では、水難事故はなく、イベント等を通じた啓発により、水難事故防止意識の向上に寄与しているものと考えている。今後も安全利用点検やイベント等を通じた河川利用の啓発活動を続けていく。
	75			河川でしか出来ない利用の実施内容	進捗あり	猪名川流域の小学生を対象に愛護セミナーを開催し、猪名川の水生生物調査等を通じて、水質管理や河川環境の保全・再生への取り組みを行った。令和5年度はこんにやく橋(川西市)、池田床固下流(川西市)、桑津橋(伊丹市)の3箇所を実施し、計160名の参加があった。また、アユの産卵時期の11月頃に中園橋上流(尼崎市)付近において、一般住民を対象に産卵場を作る体験イベントを開催し、令和5年に62名の参加があった。イベントの参加者からは「川底を掘り返す経験は普段できないので良い経験」等の感想を頂いた。今後も河川でしか出来ない河川環境を利用した環境学習の提供を継続的に実施していく。	
	76			陸域・水陸移行帯の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取組内容	進捗あり	猪名川直轄管理区間において、周辺環境及び地域特性を考慮しつつ、川らしい自然環境を保全・再生する観点に立って、公園等の占用施設の新設及び更新許可にあたって意見を述べることを目的として、平成21年度から「猪名川・藻川河川保全利用委員会」による議論を実施している。「堤防裏法面の踏み荒らし箇所は、補修を繰り返すことにならないためにも、利用者の動線を考慮して、既存の階段への誘導等の対策が必要である」という都市公園ドラゴンランド(川西市)についての意見に対し、令和4年度に、利用者の動線となる箇所に新規の階段を猪名川河川事務所が設置し、令和5年度から市道管理者が管理している。
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	不法耕作物設置に対しては、従来より禁止警告看板の設置や是正指導を行っている。河川区域等における河川巡視の結果、令和5年度では、藻川の河川敷に放置されていた不法耕作(植栽樹及び藤棚)をドローン巡視で発見。行為者を探索したが不明のため、簡易代執行によって撤去した。	
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	該当なし		
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	令和5年度は実績なし。改修事業に併せて必要に応じて実施していく。	
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	ゴミの持ち帰り、火気使用やゴルフ練習等の禁止など、利用上のルールを定め看板で明示している。従来から多く見られたゴルフによる迷惑行為は、令和5年度は2件減少しているものの、迷惑行為は継続していることから、猪名川運動公園内(池田市)付近等でマナーを呼びかける看板の設置や口頭指導を行っており、今後も引き続き迷惑行為防止に努めていく。	
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	管内のホームレスの個別訪問を月1回以上実施し、更に、自治体福祉部局と連携して個別訪問を実施している。令和5年度現在、名神高速猪名川橋上流(伊丹市)、善法寺歩道橋下(尼崎市)で各1人のホームレスが河川敷にて起居していることを確認している。平成29年度より確認数は2名となっており、平成14年度及び平成19年度からの起居者である。今後も引き続き自治体福祉部局と連携し、退去指導を行っていく。	
82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	該当なし			
83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	該当なし			

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	点検結果	
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダム健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	令和5年度は、出水期前に堤防等河川管理施設及び河道の点検・評価要領に基づいた点検と評価を実施し、令和5年度の点検結果では、予防保全段階が1箇所、措置段階が1箇所となっている。措置段階となっている1箇所は、令和6年度に対応予定である。 堤防等の河川管理施設は定期点検時や河川巡視時に状態を把握し、優先度を踏まえて順次補修等を行っている。今後もアセットマネジメントの視点に立って、適切な河川管理施設の機能維持のための巡視・点検・評価・補修を実施していく。 令和4年度に一庫ダムにおいて、ダム施設及び貯水池が適切に維持管理され良好な状態に保持されているか等を検査するダム定期検査(3年毎)が実施され、全体的に問題のないことが確認されている。次回は、令和7年度の予定。	
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗あり	一庫ダム(水資源機構)は完成後40年が経過しており、計画堆砂量2,500千m <sup>3</sup> のうち、令和4年度末で堆砂量は約985千m <sup>3</sup> 、堆砂率は約34.8%であり、堆砂量や堆砂の進行速度は概ね計画通りである。平成30年度の堆砂量の増加要因は、7月豪雨による影響が大きいと推測する。平成15年度から測定方法をマルチビームに変更して、測量精度の向上を図っており、平成29年度以降も継続して実施している。今後も堆砂量の継続的な監視を行うとともに、今後の状況によって、堆砂除去等を適宜検討していく。	
	86			許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づく点検様式での点検結果の報告を設置者に依頼した。設置者自らが、毎年出水期前に点検を行い、その結果は河川管理者に報告された。 点検数は、令和5年度に146件で、要補修箇所はなかった。
	87			河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	令和5年度は、川の流れを阻害するものや、河川管理上の支障になる樹木について、河川環境に配慮しながら、1箇所約1万m <sup>2</sup> の樹木伐採を実施した。伐採した樹木の幹については、一般の方に配布することで、コスト削減を図っている。一般の方には、ホームページ、Instagram等にて、無料配布を呼びかけ5回無料配布を実施した。
	88				堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	近年では、河道断面の維持管理の観点から、定期的又は出水後の定期縦横断面測量結果をもとに、堆積土砂の状況を確認したところ、河道断面に著しい悪影響を及ぼす堆積箇所は見られない。
	89				ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	猪名川の直轄河川管理区間におけるゴミの不法投棄については、事務所ホームページ上で不法投棄禁止の啓発を行うとともに、投棄箇所に警告のため看板設置や、ホームレスの出すゴミに対して指導を実施した。 令和5年度は約14m <sup>3</sup> の不法投棄ゴミ等を処分した。今後も引き続き、投棄箇所での警告看板による啓発を実施するとともに、投棄が発生する前の事前の対策について、現場における取組の中で検討していく。

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	令和5年度点検結果	
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	木津川流域では、水辺に親しみやすい木津川の環境を活かした自然体験活動(木津川川ガキ団等)や小学校や高校の環境学習、過去の災害をふまえ、小学4年生の授業として学習指導要領に準拠した防災講座(マイ・タイムライン学習等)、河川美化・維持管理等を目的とする淀川水系一斉美化アクションの実施など、多岐にわたる活動を実施した。活動回数41回、2977名が参加した。また、三川合流地点のさくらであい館を活動拠点として活用し、周辺の自然観察会や、地元八幡市の「竹」を七夕飾りにして展示する七夕イベントや、淀川の水防災と歴史を伝える講座など、多彩な活動を実施した。	
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	令和5年度は、木津川管内では、淀川水系一斉美化アクションの一環として、地域団体、企業、行政と連携した「木津川流域クリーン作戦」を実施した(566名、52団体参加)。実施予定や実施報告については地元紙で複数紹介された。そのほかの活動等を含め、延べ82団体(住民団体47、行政関係18、学校関係17)と連携を行った。	
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、令和5年度で229回(木津川では41回)、住民等と交流を行った。	
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	令和5年8月に加茂恭仁大橋にて、中高生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。 また、三川合流地点のさくらであい館を活動拠点とし、淀川河川公園背割堤地区にて自然環境にふれ合える、水辺の生き物探検隊や、秋の野草教室として、野草観察や葉脈標本づくり体験を実施した。	
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	河川に係わる身近な情報(工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど)をホームページやSNS(Youtube、Facebook、Twitter)で、継続的に情報発信している。	
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	八幡排水機場・橋本樋門見学会や神矢樋門・救急排水ポンプ学習会など、治水防災施設の役割を理解いただく活動を実施した。(8回314名が参加)	
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	残整備区間については、改修事業等と併せて実施。令和5年度は実績なし。	
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	八幡排水機場・橋本樋門見学会や神矢樋門・救急排水ポンプ学習会など、治水防災施設の役割を理解いただく活動を実施した。(8回314名が参加) また、淀川河川公園背割堤地区の園路(約1.4Km)について、園路タイル際(土身部分)の沈下箇所に土のうを設置し、来園者が安全に通行できるよう園路周辺の段差補修を行った。	
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	進捗あり	御幸橋野草地区、背割堤地区において、淀川河川公園の歴史・魅力紹介及び公園利用への利用案内・注意喚起のため、サイン看板の設計を行った。引続き、さくらであい館や京阪石清水八幡宮駅前にて、淀川三川さくらレンタサイクルを実施した(R6年1月末まで)。	
	10	洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	京都府域において、「まるごとまちごとハザードマップ」を令和5年度には64箇所追加設置。(城陽市で29箇所、八幡市で3箇所、京田辺市で4箇所に追加設置。)それにより、京都府域での設置箇所は393箇所となった。 また、まるごとまちごとハザードマップ高度化についても、令和5年度に木津川市で10箇所、和東町で1箇所の追加設置を行い、京都府域の合計は62箇所となった。	
	11		関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	毎年度定期的に協議会(水害に強い地域づくり協議会)を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。 なお、令和5年度は首長会議1回、行政WG1回、ブロック別会議1回、鉄道WGを1回開催し、関係機関との連携を図った。 また、協議会を通じて、流域タイムラインを作成しており、令和5年度より運用を行っている。	
	12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	該当なし		
環境	13	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)〕	進捗あり	木津川のタナゴ類の生息状況を把握するため、継続的にタナゴ類仔魚の確認を行っている。令和5年度については、稚魚は確認されなかったが、成魚は確認された。	
	14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	該当なし		
	15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域(盆地～源流部)木津川〕	該当なし		
	16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	該当なし		
	17			生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	令和4年までに「伝統的河川工法が河床地形や滞水を替える効果と河床と生息場や生物群集に及ぼす影響」退の効果検証のため、京都大学防災研究所、やましろ里山の会、京の川の恵みを活かす会、京都大学、摂南大学、河川レンジャー等により竹蛇籠、聖牛、中聖牛を木津川中流部に設置した。令和5年度は竹蛇籠を設置した。
	18			外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	対策が必要な外来種は確認されておらず、今後の調査結果に応じて対策検討を行う。
	19			良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	20	河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり		平成30年度以降の不法耕作面積は約8万㎡であったが、令和5年度では約4万㎡と減少傾向となっている。不法耕作地にあった農小屋の一部は、是正看板設置や現地指導を行い、行為者による撤去が行われた。		
	21	ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川〕	該当なし				
	22	河川の連続性の確保	河岸-陸地の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域(湛水区間)〕	進捗あり	木津川において、たまりの保全等を目的に、伝統的河川工法である中聖牛を設置している。令和4年度までに、木津川中流部右岸に新たに16基の中聖牛を製作・設置した。令和5年度は竹蛇籠を設置した。	
23	ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川〕		該当なし				
24	内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖-流入河川の連続性の確保		既設の堰・落差工の改良内容	進捗なし	関係機関と調整しながら、必要に応じて調査を行い、検討予定。令和5年度は実績なし。		
25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容〔下流域(湛水区間)〕	該当なし			
26			瀬田川洗堰による水位操作の改善内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし			
27			琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし			
28			既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数〔上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川〕	該当なし			
29			河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当なし		

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	令和5年度点検結果		
	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。		
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容[上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	該当なし			
	32		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果[上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	該当なし			
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	令和5年度に木津川 恭仁大橋地点で水質調査(BOD)を実施。水質調査結果の平均値は0.9mg/Lであった。		
	34		ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	該当なし				
	35		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	進捗あり	淀川水系総合土砂管理検討委員会で総合土砂管理方策について検討。木津川上流河川事務所や水資源機構と連携した土砂管理について計画を検討中。		
	36	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)		該当なし				
	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	令和5年度は、木津川堤防強化工事において移植を実施した貴重植物種のモニタリング調査を行った。		
	38		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	淀川環境委員会の指導・助言を得ながら生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し適切に工事を施工している。令和5年度、淀川環境委員会に諮った工事案件数は24件だった。(うち木津川下流は5件)		
	39		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	令和4年度までに、「伝統的河川工法が河床地形や滞筋を替える効果と河床と生息場や生物群集に及ぼす影響」等の効果検証のため、京都大学防災研究所、やましろ里山の会、京の川の恵みを活かす会、京都大学、摂南大学、河川レンジャー等により16基の中聖牛を木津川中流部右岸に設置した。令和5年度は竹蛇籠を設置した。		
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	令和5年度に京都府山城土木事務所が管理する、「府道京都守口線府民協働型インフラ保全工事他」を実施するにあたり、環境委員に現地を確認頂き、環境配慮に対する指導・助言を実施した。		
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	生物の良好な生息・生息環境に配慮し、美しい自然環境を保全、創出するための「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」を毎年開催している。整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の知見の蓄積や意識の向上を目的としている。		
42	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	平成29年度～令和3年度に設置された、中聖牛16基の設置後の土砂堆積状況経年変化を調査し、環境像の把握・整理を行っている。			
治水・防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	河川レンジャーが民生委員を対象としたマイ・タイムライン作成勉強会を実施した。また、久御山町防災訓練に出展し、浸水地歩行の体験を行った。令和5年度は10回実施、449人が参加した。		
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	令和5年度に、前線による大雨時、水害に強い地域づくり協議会の担当者とWEB会議で気象状況や水位予測等についての情報共有を行った。		
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	完了	令和3年度で木津川下流の想定最大規模での浸水想定範囲の自治体のハザードマップの更新が終了。		
	46			災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	進捗あり	事務所HPIにて、マイ防災マップ作成オンライン学習動画を掲載している。令和5年度は市町村への支援としてマイタイムライン等の作成支援を行った。また、水害に強い地域づくり協議会にて、要配慮者利用施設での避難訓練の実施に向け訓練実施状況等の周知を行った。		
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	該当なし			
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	2023淀川水防連絡会(水防に関する情報共有・意見交換等)を関係機関・水防事務組合と合同で実施。		
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	令和3年度に、淀川・宇治川・桂川・木津川における「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。全体計画の中で、中核施設として位置づけている整備箇所について、関係市町と協議を進めている。		
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	自治体が管理する施設等にまるごとまちごとハザードマップ設置の支援を行い、各地域の浸水被害に対する危険度を周知している。		
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	京都府域において、「まるごとまちごとハザードマップ」を令和5年度には64箇所を追加設置。(城陽市で29箇所、八幡市で3箇所、京田辺市で4箇所を追加設置。)それにより、京都府域での設置箇所は393箇所となった。まるごとまちごとハザードマップ高度化についても、令和5年度に木津川市で10箇所、和東町で1箇所の追加設置を行い、京都府域の合計は62箇所となった。また、出前講座やマイタイムラインの作成支援等も継続的に行っており、令和5年度は精華町、木津川市で実施した。		
	52			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	令和2年度に淀川流域治水協議会を設立し、協議会の中で淀川流域治水協議会淀川(京都府域)分会を設置。令和5年度は、流域治水プロジェクト2.0や水害リスクの自分事化、流域治水に関する取組について情報共有した。	
	53			堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	令和5年度に0.1 kmの浸透対策を実施した。残り3.2 kmの浸透対策を引き続き実施する。
	54					堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	進捗なし	残りの侵食対策については、今後の調査検討を踏まえ、整備予定。令和5年度は実績なし。
55	堤防天端舗装実施内容・延長	完了						
56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	桂川・宇治川の整備進捗や淀川本川の安全度を低下させないよう上下流バランスを確保しながら河道掘削等の河川改修を実施する。現在、淀川下流部の流下能力増強につながる橋梁改築を実施していることから、実施時期を検討している。			
57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	木津川上流部及び中流部での対策と下流部での対策を併せて実施することで、整備計画目標流量を安全に流下させることができる。引き続き、整備効果の把握に努める。			
58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし				
59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし				

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	令和5年度点検結果
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	該当なし	
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗あり	各施設の耐震性能照査を実施し、要対策施設について対策内容を検討している。
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	進捗あり	残整備区間については、実施時期を検討している。
	65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし	
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし	
	67			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っている。令和5年度の水利権許可の実績は0件。
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	該当なし	
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗なし	引き続き、安定した水利用のための水利権の見直しの必要性把握に努める。
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	該当なし	
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	該当なし	
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	現在、不法係留は確認されておらず、引き続き、秩序ある水面利用を促す。
	74	川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに3箇所の補修を実施した。危険箇所における注意喚起看板の設置や水難事故防止の教育等を行ったこともあり、利用者が増加するゴールデンウィークや夏休み期間において無事故であった。	
	75	「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	令和5年8月に加茂恭仁大橋にて、中高生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。	
	76	陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	木津川の高水敷利用について、自治体が占有している公園等を審議対象として河川保全利用委員会を開催。委員からは「木津川は河川環境を考えていく中で、大きなポテンシャルがあり新しい河川敷利用を考える良い事例がある」などの意見をいただき、施設の改善について、施設管理者に指導・助言を行うことができた。	
	77		違法行為の是正内容	進捗あり	木津川においては、平成30年度の不法耕作面積は約8.7万㎡であったが、是正指導看板の設置や現地指導の実施に伴い是正を継続し、令和5年度では、約4.3万㎡と減少傾向となっている。不法耕作地にある工作物に対しては、是正看板設置や現地指導を行い、行為者自身による撤去が行われた。	
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり	平成21年度にかわまちづくり支援制度が創設され、河川管理者がハード・ソフト面での支援を行っている。平成31年に「和東町木津川かわまちづくり」が登録され、現在事業を実施中。
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	河川管理道路を活用し自転車道として占有された自治体において、周辺地域間とのネットワークが形成されている。令和5年度での整備実績はなし。
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	木津川において、ラジコン飛行機や車両によるオフロード走行等の迷惑行為が行われており、休日巡視を含めた現地での口頭指導、侵入防止対策を行った。またラジコン飛行機の利用箇所には、不陸化と禁止看板の設置を行った結果、迷惑行為は減少している。
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	令和5年度は1名の起居が確認されている。引き続き定期的に巡回するとともに、福祉部局とも情報交換を実施している。
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	該当なし	
83	水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容			進捗あり	河川改修により創出される河川空間と、地域活性化や観光振興を推進するまちづくりが一体となり、地域の新たなにぎわいを創出する空間づくりを目指すべく、「和東町木津川かわまちづくり」計画が平成31年3月8日に登録され、計画に基づく整備を実施中。令和4年度は、用地買収及び整備にあたり必要な準備工を実施。	
維持管理	84	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施。抽出された変状毎の2次評価結果では、令和5年度末時点で、予防保全段階21箇所、措置段階0箇所となっている。	
	85		ダム機能の維持内容・堆砂量	該当なし		
	86	許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、令和5年度は橋梁、樋門等許可工作物62施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち要監視段階が14施設、予防保全段階が12施設あった。	
	87	河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	木津川下流域全体で令和4年度～令和5年度にかけて、251,480㎡伐採した。このときの伐採箇所はすべて流水阻害対象樹木群であった。これにより、伐採区間については河道流下断面が確保できた。	
	88		堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	河道内堆積土砂の管理については、定期的及び出水後の河床変動状況を把握するため、縦横断面測量等モニタリングを実施。	
89	ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容		進捗あり	河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努める。淀川河川事務所管内では、令和4年度で約230㎡、令和5年度で約80㎡のゴミを処理。		



淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	点検結果
人と川のつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	流域のNPO、企業等と連携した各種プログラムを実施した。上野遊水地管理センター及び遊水地における防災学習を実施した。また、伊賀鉄道と連携したインフラツーリズム企画は「川に関心を持ってもらう」目的として取り組んだ。名張川においては、クリーン大作戦20周年企画として「名張かわまちづくり」の情報発信や意見交換等、川について触れてもらい、考える場作りを意識して取り組んだ。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	市民団体等と連携して、ナマズ遡上のための留い川簡易魚道作成や河川環境や資源に重大な影響を及ぼす特定外来生物のククチバスの駆除を木津川、宇陀川で実施した。また、NPO等と連携して名張川クリーン大作戦をし、名張市全体で4522人の参加を得た。なお、取り組み内容は流域広報レポートとしてとりまとめ、HP等を通じて外部に発行した。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	河川レンジャー3名が在籍し、木津川上流域で活動をおこなっており、令和5年度は18回、住民等と交流を行った。木津川ミニ水族館や水生生物調査、源流体験、化石調査などを通して地域住民の興味関心を高めるべく、プログラムを企画運営した。
	4		子供達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	御杖村立御杖小学校及び宇陀市立大宇陀小学校にて、川の環境、砂防に関する出前講座を実施。また、毎年、海の日には地域の子供たちに対して、川の関心向上及び水質保全活動推進を目的とした、水生生物調査、バックテスト(簡易水質検査)等を行っている。木津川上流部の稲広橋付近で伊賀市上野生涯学習推進会議と連携し、約250名の参加者で賑わった。今後も継続して子供たちの環境教育を実施していく予定。参加者からは「生き物で川のきれいさを知れるのはすごいと思った。」「自分で見つけられたことがうれしかった。」等の感想があり、地域の子供たちへの初夏定番の水辺のイベントとしての定着も得ている。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取組	進捗あり	令和5年度は、HP、X(旧Twitter)合わせて109件の情報発信を行った。中でも8月15日に行った「警戒レベル2相当情報【洪水】」の投稿を見た人が7899人で年間通じて一番多く、発信の効果が確認できた。名張かわまちづくりの工事進捗状況を紹介するタイムラプス動画配信を継続して行っている。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	地域の住民に対してNPOや河川レンジャー等と連携し、環境学習などのプログラムを計16回実施した。また、その際には、例えば防災意識や流域治水に関する市民アンケート(対面・WEBアンケート形式)などを適宜実施している。「魚のことをもっと知りたいと思った。」「去年もやったけどまたやって欲しい」など関心の高まりが得られた。さらに、地域住民との意見や考えなどを把握し今後の活動の参考とした。
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	かわまちづくりなどの改修事業に併せ実施していく予定。令和5年度は実績なし。
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	R5年度は、町中心部の名張川河川敷において周辺の街景観に配慮したスロープの設置を行った。名張かわまちづくりにおいて、今後、地元自治体と連携しつつスロープやベンチ等、憩い・安らげる河川空間をデザインし、基盤の整備を実施していく予定。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	該当なし	
	10		洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報の発信	まるとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり
11	関係機関との連携	協議会等との連携内容		進捗あり	減災対策協議会(平成28年設立)は、令和5年度2回の協議会を開催(累計15回)。水防災意識社会の再構築に向けた防災減災への取組を継続している。ソフト対策としては、名張市と連携してR6年2月に名張市マイ・タイムライン講習会を開催した。	
12	上下流交流の促進	水源地ビジョンに基づく活動内容		進捗あり	各ダムにおいて、小学生や一般来訪者の施設見学受入れを実施。また、布目ダムでは地域に親しまれるダムを目指し、地元観光協会等と協力して施設見学会を開催し、湖面巡視体験、堤体内見学、パネル展示などにより、ダムや水源地の魅力について発信した。	
13	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数	該当なし		
14			ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容	該当なし		
15			オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容	進捗あり	川上ダムの建設に伴い、平成28年移転開始以降、令和4年末までに565個体の移転を実施。令和5年度調査迄で、遡上路を設置した全ての堰(11箇所)においてオオサンショウウオの遡上を確認しており、人工巢穴32箇所のうち29箇所を利用を確認した。	
16			アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数	該当なし		
17		生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容(回数)	進捗あり	水資源機構・名張市や地元NPO団体と協同し、ナマズの産卵期に留い川の簡易魚道作成を昨年度に続き実施した。上流水路でナマズの遡上及び産卵を確認した。新居遊水地では横断連続性の構築に向けた水田魚道の試行設置を実施した。	
18		外来種対策の実施	外来種対策の実施	進捗あり	地域連携の一環として、市民団体や漁業協同組合と共同でククチバスの駆除を実施した。約12,000個の卵と約2000個体の仔稚魚、9個体の親魚を駆除した。	
19		良好な景観の保全・創出の取り組み	瀨田川の水辺のあり方に関する取り組み内容	該当なし		
20		河川景観を損ねている不法工作物の計画的な正やゴミの不法投棄の防止状況・対策箇所数	進捗あり	令和5年度も、ゴミが捨てられている場所や種類等の現状を分析したゴミマップを作成し、河川ゴミの削減や流域住民に当事者意識を感じてもらえるよう周知・啓発に努めている。		
21		ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数	進捗あり	高山ダムの貯水池内法面侵食防止と湖岸緑化を目的に土留柵等の設置(H21年度)。現在、水位低下後の法面裸地において、緑化がはかられていることを確認した。		
22		河川の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数	進捗あり	ワンドについて、かわまちづくり計画に基づき改修事業と合わせて整備することを検討中。また、河道掘削等の改修時において断面形状の工夫等、必要に応じて検討している。	
23	干潟・ヨシ原の保全・再生内容・面積		該当なし			
24	内湾・汽水域・河川、琵琶湖・内湖・流入河川の連続性の確保		既設の堰・落差工の改良内容	進捗あり	ナマズの産卵期に名張川に合流する留い川の簡易魚道作成を昨年度に引き続き実施した。上流水路でナマズ及び産卵に適した環境を確認した。新居遊水地では地域の協力を得て、水田魚道の試行設置を実施した。	
25	川本来のダイナミズムの再生	淀川大堰による水位操作の改善内容	該当なし			
26		水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	瀨田川洗堰による水位操作の改善内容	該当なし		
27		琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容	該当なし			
28		流況の平滑化に対する河川環境の改善	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数	進捗あり	令和5年度は、高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダムにてフラッシュ放流を実施した。また、高山ダム、青蓮寺ダム、室生ダム、比奈知ダムでは土砂還元を実施した。	
29	河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当なし			

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	点検結果
環境	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討内容	進捗あり	地域の子どもたちに対して、川への関心向上及び水質保全活動推進を目的として、海の日に稲広橋で水生生物調査、バックテスト(簡易水質検査)等を実施。
	南湖の再生プロジェクト取り組み内容			該当なし		
	31		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果	該当なし	
	32			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	情報共有ツールとして支川を含む流域の水質汚濁状況を直感的に把握できる水質見える化マップを更新し、HPへ掲載している。
	33			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	進捗あり	木津川上流ダム(高山ダム、布目ダム、室生ダム、青蓮寺ダム、比奈知ダム、川上ダム)では水質保全対策の継続実施により、平成30年度～令和5年度において、アオコ・淡水赤潮による大規模な水質障害は発生していない。
	34			河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方針の検討内容(既存ダム、ダム下流)	進捗あり	・令和4年4月、木津川上流ダム群土砂管理懇話会にて、川上ダムの代替補給容量を用い、既設ダムの水位を低下させて実施する効率的な堆砂除去の基本方針を作成した。現時点では、川上ダムが試験湛水中であるため、川上ダムの代替補給容量を利用した堆砂除去は実施できていない。 ・総合土砂管理方針の検討のために置き砂等を実施している。
	35	流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)		進捗あり	・透過型堰堤については設計検中。 ・現在着手中の堰堤は以下の通り。 ○三本松砂防堰堤(不透過堰堤) ・完成 ○谷出第3砂防堰堤(不透過堰堤) ・完成 ○大野砂防堰堤(不透過堰堤) ・令和7年度完成予定 ○坂ノ下第3砂防堰堤(不透過堰堤) ・令和7年度完成予定
	36		河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	河川水辺の国勢調査の調査において、河川情報図等の要素からなる河川環境管理チェックシートを用いて、簡易的なモニタリングを継続実施している。	
	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所数	進捗あり	工事を実施する箇所において、「特別天然記念物オオサンショウウオ保護管理指針2012(三重県教育委員会・奈良県教育委員会、平成24年)」に基づき、国指定特別天然記念物のオオサンショウウオの生息状況を確認するとともに、生息が確認された際には、個体を一時的に捕獲・保護し、DNA分析によって在来種であった場合は工事の影響がない場所に移動・放流することを目的としてオオサンショウウオ保護調査を実施している。 令和5年度は名張管内1件、伊賀管内2件の工事が保護調査の対象となったが、オオサンショウウオの生息は確認されなかった。
	38		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	第39回木津川上流河川環境研究会を開催し、水資源機構・名張市や地元NPO団体と協同で実施した。ナマズの産卵期での留い川の簡易魚道作成、コクチバス駆除などに対して助言をいただいた。また、総合土砂管理に関しては、ワーキングを現地見学とあわせて開催した。
	39		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	主に河川占用申請を提出している関係機関に対し、堰等の改良をはたらきかける。 宇陀川の取水堰魚道において、縦断的連続性の観点から現状を確認した。
	40		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	水生生物調査やコクチバス駆除、魚道作成などの機会を通じて、事務所職員が積極的に参加することで、河川環境への知識技術を高めている。
41	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	総合土砂管理WG、木津川上流河川環境研究会にて、木津川 大河原地区にて置き砂試験施工、フラッシュ放流などの取り組み報告を行い、今後の取り組みに対する助言をいただいた。	
42	危機管理体制の構築		破堤氾濫に備えての被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	名張市と連携して、伊勢湾台風の体験談を語るインタビューを含めたマイ・タイムライン作成講習会を企画実施した。令和5年度は39名の参加があった。
43		自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制		進捗あり	洪水時の出水時における木津川上流河川事務所と関係自治体との連携体制と災害対応の強化を図るため、6月・8月に減災協議会メンバーに対して水防テレビコミュニケーション会議を開催。5月には洪水対応演習を実施し、自治体へのホットラインの確認も行った。	
44		ハザードマップ作成内容・フォローアップ		進捗あり	名張市洪水・土砂災害ハザードマップの更新を支援した。	
45		災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)		進捗あり	減災対策協議会にて、木津川上流部の流域タイムラインの更新等を共有し、また、避難に関する啓発活動をテーマにした議論を行った。	
46		地下空間の利用者及び管理者への情報伝達体制整備内容		該当なし		
47		水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承		進捗あり	6月に伊賀市と国交省合同による排水ポンプ車等災害対策用機械の操作訓練を実施した。また、伊賀鉄道との第1陸間の夜間操作訓練を実施した。	
48		水防拠点整備の内容・箇所数		進捗あり	令和3年度に、淀川・宇治川・桂川・木津川における「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けており、整備内容を検討している。	
49		公共施設の耐水化等の支援内容		進捗あり	浸水想定図などを公表しており、公共施設の耐水化等の支援が行えるようにしている。	
50		水害に強い地域づくりに向けた取組内容		進捗あり	令和5年度に流域沿川自治体を対象に作成した流域タイムラインの更新を実施した。 名張市における立地適正化計画策定に向けて、浸水想定区域等の情報提供を行った。	
51		河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施		流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	第15回減災対策協議会は、令和5年度3月に協議会を開催。関係機関の流域治水への取り組みについて共有し、木津川上流部の流域治水プロジェクト2.0の確認を行った。
52						

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	点検結果
治水・防災	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、浸食対策実施内容・延長	進捗あり	引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。
	54			堤防天端以下、浸食対策実施内容・延長	該当なし	
	55			堤防天端舗装実施内容・延長	進捗あり	堤防整備に合わせて実施するべく実施時期を検討している。
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	令和3年6月の整備計画変更により、上野遊水地事業(引堤、河道掘削)、名張かわまちづくり一体型浸水対策事業(引堤、河道掘削)の実施をしている。 令和4年度に、川上ダム建設事業が完成し、令和5年4月より運用開始。
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	伊賀上野地区において、服部川の河道掘削及び三田地区で引堤を行っている。R5年度は3万m3の掘削と約300mの築堤が完了。 名張管内では名張川において引堤事業を継続しており、黒田地区にて約80mの築堤を完了した。 引き続き、整備効果の把握に努める。
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	進捗あり	令和5年度、三本松砂防堰堤、谷出第3砂防堰堤が完成した。 大野砂防堰堤、坂ノ下第3砂防堰堤について、現在整備中。
	60	既設ダム等の運用の検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗あり	台風7号に伴う降雨に対して、木津川上流ダム(高山ダム、布目ダム、室生ダム、青蓮寺ダム、比奈知ダム)では事前放流を実施した。また、各ダムでの洪水調節によりダム下流河川水位を低減させた。
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	
	62			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし	
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗あり	樋門・排水機場について耐震性照査を順次実施、必要な対策を検討中。
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし	
	65		津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	該当なし	
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	該当なし	
67	陸閘の確実な操作のための取組			該当なし		
利水	68	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っている。令和5年度の水利権許可の実績は0件。	
	69	環境に配慮した効率的な水利用の促進	効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダムの貯水率をホームページで公表、各種イベントでのパネル展示などにより、節水への意識向上を図っている。
	70		安定した水利用が来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗なし	川上ダム建設事業の完了に伴い、安定した水道用水の供給が可能となった。 引き続き、安定した水利用のための水利権の見直しの必要性把握に努める。
	71	渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	令和3年度に淀川水系渇水対応タイムラインの試行運用を開始し、渇水への対策とその時期について行動計画を作成した。 令和5年度は引き続きタイムラインの試行運用を実施した。
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある淀川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	該当なし	
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	河川利用、水面利用に向けての誘導または規制の取組を行っている。 令和5年度は実績なし。
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	危険箇所と判断される箇所には、注意喚起看板の設置や水難事故防止の看板を設置して川の利用者に注意を呼びかけている。また、令和5年度も安全利用点検結果をもとに、補修を実施している。
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	市や地元NPO団体や河川レンジャー等と連携してミズベリング・水生生物調査・名張クリーン大作戦(河川清掃)・川の安全教育等を実施した。
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用の取り組み内容・回数	進捗あり	河川の適正な保全・利用のため、占用者に指導・助言を行っている。令和5年度は実績なし。
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	継続している不法行為は確認していない。
	78		憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり
	79	小径(散策路)の利便性向上の取組内容			進捗なし	昨年に引き続き、歩行者等が河川に沿って容易に移動でき、安全に水辺に近づけるよう、小径(散策路)の整備を継続して実施する。令和5年度は実績なし。
	80	迷惑行為の是正内容・対策箇所数			進捗あり	顕著な迷惑行為は確認していない。
	81	ホームレス対応内容・確認数			進捗あり	管内河川内にホームレスの存在は確認していない。
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	進捗あり	まちづくりや地域連携の取り組みとして、歴史文化と調和した河川整備に引き続き努めている。
83	水辺を活かしたまちづくりの取り組み内容			進捗あり	平成30年度に名張市の名張かわまちづくり計画が登録され、親水護岸、桜並木、親水広場、堤内地の案内サイン等の整備内容について、川を活かした地域づくりを目指した基盤整備を進めている。 R5年は地元住民も交えた2回の意見交換会と部会、協議会を実施。河川空間を将来に向けて作り込まず、自然を生かした空間とすることで、緩傾斜広場案を採用することなど、計画の大まかな方針が決まった。	

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	点検結果
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダム健康診断内容・補修箇所数 堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	出水期前に堤防等河川管理施設及び河道の点検・評価要領に基づいた点検・評価を実施した。令和5年度の堤防及び護岸の点検結果は、要監視段階が22区間、予防保全段階が1区間、措置段階が0区間であった。同じく樋門等の点検結果は、要監視段階が25施設、予防保全段階が12施設、措置段階が1施設だった。室生ダム、布目ダムにおいてダム定期検査を実施した。また、堤防点検のために年2回の草刈りを行い、発生した草を「刈草ロール」にして無料で配布しており、地域住民とのコミュニケーションの推進、資源循環、コスト削減を図っている。
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	進捗あり	高山ダム(4,433/7,600千m <sup>3</sup> )、比奈知ダム(819/2,400千m <sup>3</sup> )では、目安堆砂量に対する進行速度が1.0倍以上となっている。今後、ダムの長寿命化施策として、現在建設中の川上ダムの代替容量を用いて、各ダムの堆砂対策を順次実施していく。(現行堆砂量/計画堆砂量)
	86		許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づく点検様式での点検結果の報告を設置者に依頼した。設置者自らが、毎年出水期前に点検を実施。令和5年度の点検結果は、203箇所の施設を点検し、措置段階が1施設あり、補修計画が定まっていない施設については作成の指導を行った。
	87		河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	令和5年度は河道内樹木の伐採は実施しなかったが、引き続き樹木伐採、竹の抜根を計画的に実施していく。
	88			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	木津川木興地区において、17.9千m <sup>3</sup> の堆積土砂の除去を行った。
	89			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	河川区域等における違法行為の発見、堤防や護岸等の変状の発見、河川内の環境や利用に関する情報収集等を目的とした河川巡視を継続実施している。また、啓発活動の一環として、令和5年にゴミマップを更新している。木津川上流河川事務所管内では、令和4年度で約8m <sup>3</sup> 、令和5年度で約11m <sup>3</sup> のゴミを処理。

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	令和5年度点検結果
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	本川右岸側鳥飼ワンドでは、ワンドの整備・利用の活性化に向けて、河川レンジャーが中心となって地元住民・大学などが協働し、外来水草の除去、自然観察会など様々な活動を行った他、地元自治体との情報交流を深めている。左岸側では、淀川河川公園枚方地区多自然池エリアにおいて、かわまちづくりと連動した水辺環境の整備を自治体・地元企業と連携して行っている。 また、流域全体で河川清掃を行う「淀川水系一斉美化アクション」を実施した。小・中学校での防災学習や、自治会と連携したマイ・タイムライン学習などを実施。活動回数125回、7478名が参加した。 加えて、令和5年10月に、城北わんどにおいて、淀川河川事務所主催、市民団体・企業・地元住民との連携による「淀川わんどクリーン大作戦」を行った。 また、淀川河川公園大塚地区において、地域団体や近隣の大学・高校と協働し、住民参加型プログラム「大塚地区魅力発見プロジェクト」として、「秋の河川公園自然・楽しみ発見プログラム」や「野草観察会」、「野草迷路」などのイベントを開催した。
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	地域団体、学校、企業等と連携し、河川清掃や外来種駆除、水辺環境の整備等の川づくりに関する活動を行った。活動全体を通じて延べ444団体(住民団体313、行政関係58、学校関係73)と連携を図った。
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	淀川河川事務所管内では各出張所管内毎に河川レンジャーを配置し、沿川全域で活動を行っており、令和5年度で229回(淀川本川では125回)、住民等と交流を行った。 鳥飼ワンドの取り組みでは、河川レンジャーが活動を通して聴取した利用者の意見や調査結果を専門家とともにとりまとめ、鳥飼ワンドの改良イメージを作成し、淀川環境委員会(部会)に報告を行っている。
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	令和5年7月に、守口市立守口第一中学校で環境保全に関する出前講座を実施した。 令和5年8月に塚本干潟にて、中学生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。 また、とりかい高等支援学校でのたい肥作り、プランターの花苗の植え付け作業等の出前授業や、むらの高等支援学校の花壇づくり等維持管理作業での職場体験学習の受入を実施している。
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	河川に係わる身近な情報(工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど)をホームページやSNS(Youtube、Facebook、Twitter)で、継続的に情報発信している。
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	企業との連携により淀川舟運の歴史・文化を辿る船上勉強会を実施した。歴史的建造物、毛馬閘門・淀川大堰閘門・排水機場の役割を解説し、淀川新閘門工事の進捗解説を船上から見学した。参加者からは、「貴重な船体験と淀川の歴史はたいへん勉強になった」、「説明が無かったらわからなかったと思う。楽しく勉強できた」等の意見をいただいた。
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	残整備区間については、改修事業等と併せて実施。令和5年度は実績なし。
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	令和5年度は、淀川河川公園で様式タイプの移動式トイレを1箇所新設、2箇所更新し、淀川河川公園全地区で移動式トイレの総数89箇所整備している。
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	該当なし	
	10		洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり
11	関係機関との連携	協議会等との連携内容		進捗あり	毎年度定期的に協議会(水害に強い地域づくり協議会)を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。 なお、令和5年度は首長会議1回、行政WG1回、ブロック別会議1回、鉄道WGを1回開催し、関係機関との連携を図った。 また、協議会を通じて、流域タイムラインを作成しており、令和5年度より運用を行っている。	
12	上下流の連携の構築	上下流交流の促進		該当なし		
多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	13	琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)〕	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数〔下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)〕	進捗あり	淀川におけるイタセンバラ野生復帰の取り組みの一環としてイタセンバラを含むタナゴ類の稚魚調査を行っている。 イタセンバラ個体数は0であった。
	14		ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容〔中流域宇治川〕	該当なし	
	15		オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域(盆地～源流部)木津川〕	オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容〔上流域(盆地～源流部)木津川〕	該当なし	
	16		アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数〔中流域宇治川〕	該当なし	
	17	生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	地域の市民団体、大学、企業、行政で構成されている淀川水系イタセンバラ保全市民ネットワーク(イタセンネット)、国土交通省淀川河川事務所、大阪府立環境農水産総合研究所生物多様性センターが連携し令和5年度に、城北ワンド及び庭窪ワンドでオオクチバス、ブルーギル等の外来魚を併せて6,686個体を駆除している。	
	18	外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	令和5年度は、城北ワンド群にて淀川河川事務所が維持作業として外来魚の除去作業を実施し、オオクチバス、ブルーギルを併せて4,279個体を駆除している。 また、特定外来水草であるナガエツルノゲイトウ、オオフサモ、ミズヒマワリ、オオバナミズキンバイが確認されたため、維持管理作業により駆除作業を行った。除去量は合計で29,658kgであった。 また、環境省にてヌートリア21個体を捕獲。	
	19	良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	20		河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	淀川本川(大阪市域、守口市域、枚方市域、高槻市域)の不法耕作面積は、令和5年度末時点で6,469㎡である。不法係留船については令和5年度に簡易代執行を実施し、ほぼ解消されている。
21	ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川〕		ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数〔上流域(山間部)宇治川～瀬田川〕	該当なし		
22	河川の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域(湛水区間)〕	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数〔下流域(湛水区間)〕	進捗あり	令和5年度に三島江地区、点野地区の既存ワンド整備(機能改善)を行った。 また、令和元年度～2年度に、阪神なんば線淀川橋梁架替事業に係る浚渫土を活用し、淀川汽水域の河口域において人工干潟の再生を実施し、令和3～5年度にモニタリング調査を実施しているところであり、令和5年度の調査では、干潟環境を望む生物が確認された。	
23		ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川〕	ヨシ原の保全・再生内容・面積〔下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川〕	進捗あり	令和5年度は、鶴殿地区において、環境委員の助言のもと、切下げ整備(4,800㎡)を行った。 現在ヨシの生育段階であるため経過観察中であり、順次モニタリングを行い効果検証を行う。	
24		内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖-流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗なし	関係機関と調整しながら、必要に応じて調査を行い、検討予定。令和5年度は実績なし。	

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	令和5年度点検結果
環境	25	川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容[下流域(湛水区間)]	進捗あり	アユの遡上の促進とコイ・フナの産卵促進を目的とした、淀川大堰の水位管理を行った。大川の水位が高い大潮満潮時に水位を低下させて、水位差を小さくすることで、遡上環境改善を実施し、上下流の水位差が小さい時に遡上率が高くなることが確認された。
	瀬田川洗堰による水位操作の改善内容[上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]			該当なし		
	琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容[上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]			該当なし		
	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数[上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川]			該当なし		
	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数			進捗あり	淀川水系流域委員会で、淀川下流域の河川環境上望ましい流量に関する検討会を、H17～H20年度に6回開催している。その中で必要維持流量を、神崎川10m3/s、大川(旧淀川)70m3/sと設定された。R5年度は年間を通して維持流量の確保を達成した。	
	26	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。
	27			南湖の再生プロジェクト取り組み内容[上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	該当なし	
	28			琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果[上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	該当なし	
	29			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	令和5年度に淀川 枚方大橋中央で水質調査(BOD)を実施。水質調査結果の平均値は0.8mg/Lであった。
	30			ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	該当なし	
31	河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)			該当なし		
流域管理に向けた継続的な施策展開	32	流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当なし		
	33			河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	令和5年度は、鶴殿地区における、ヨシ原植生モニタリング、水無瀬地区において、鳥類・哺乳類・陸上昆虫類・植物・魚類・アユ産卵場・底生動物のモニタリングを行った。
	34			生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	進捗あり	点野地区、三島江地区において、水域の連続性の確保や、陸域化したワンドの水域再生を実施した。淀川環境委員会の指導・助言を得ながら生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し適切に工事を施工している。令和5年度、淀川環境委員会に諮った工事案件数は24件だった。(うち淀川本川は8件)
	35	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	令和5年10月に市民団体、企業や地元住民との連携のもと、淀川敷の清掃活動を目的とした「淀川わんどクリーン大作戦」を開催した。	
	36	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	令和5年に寝屋川市が管理する「寝屋川市取水施設撤去工事」について、環境委員に現地を確認頂き、環境配慮に対する指導・助言を実施した。	
	37	河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	生物の良好な生息・生息環境に配慮し、美しい自然環境を保全、創出するための「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」を毎年開催している。整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の知見の蓄積や意識の向上を目的としている。	
	38	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	令和5年度も環境情報として、ワンド再生後のモニタリングを実施し、評価・フィードバックを行っている。	
治水・防災	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	自治体、自治会、学校、図書館等と連携し、防災イベント、防災勉強会、出前授業等で河川レンジャーが浸水地歩行体験、マイ・タイムライン作成、ハザードマップ学習等の指導を行った。令和5年度は48回実施、4,569人が参加した。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	令和5年度に、台風接近時に、水害に強い地域づくり協議会の担当者とWEB会議で、台風による影響の可能性について、情報共有を行った。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	完了	令和3年度で淀川の想定最大規模での浸水想定範囲の自治体のハザードマップの更新が終了。
	46			災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	進捗あり	事務所HPにて、マイ防災マップ作成オンライン学習動画を掲載している。令和5年度は市町村への支援としてマイタイムライン等の作成支援を行った。また、水害に強い地域づくり協議会にて、要配慮者利用施設での避難訓練の実施に向け訓練実施状況等の周知を行った。
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	進捗なし	市町村防災会議や地域防災計画更新の際に、地下空間への浸水対策に関する助言や技術的支援を行う。令和5年度は実績なし。
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	2023淀川水防連絡会(水防に関する情報共有・意見交換等)を関係機関・水防事務組合と合同で実施。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	令和3年度に、淀川・宇治川・桂川・木津川における「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。あわせて、摂津市鳥飼地区における「河川防災ステーション整備計画」が登録され、摂津市と連携して事業を推進している。また、全体計画の中で、中核施設として位置づけている整備箇所について、関係市町と協議を進めている。
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	自治体が管理する施設等にまるごとまちごとハザードマップ設置の支援を行い、各地域の浸水被害に対する危険度を周知している。
	51			水害に強い地域づくりに向けた取組内容	進捗あり	出前講座やマイ・タイムラインの作成支援等も継続的に行っており、令和5年度は枚方市や寝屋川市で実施した。
	52			河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施	流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり
治水・防災	53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	残りの浸透対策については阪神なんば線淀川橋梁事業および淀川左岸線2期事業と重複整備区間のため、事業間調整を行い整備予定。引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。
	堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長			進捗なし	残りの侵食対策については、今後の調査検討を踏まえ、必要に応じて整備を行う。	
	堤防天端舗装実施内容・延長			完了		

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	令和5年度点検結果	
	56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	淀川本川では、流下能力を向上させるために平成30年度から阪神なんば線淀川橋梁の架け替えに着手した。また、令和3年8月に変更した淀川水系河川整備計画に新たな整備を位置付け推進中。	
	57		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	整備による効果	進捗あり	淀川下流部の流下能力を向上させるため、阪神なんば線淀川橋梁(1箇所)の橋梁嵩上げを実施中。引き続き、整備効果の把握に努める。	
	58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	進捗あり	大宮東地区にて、高規格堤防整備(延長:130m)を実施中。	
	59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし		
	60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	該当なし		
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	進捗あり	阪神なんば線淀川橋梁(1箇所)において、橋梁の嵩上げを実施中。	
	62			陸閘の確実な操作のための取組	進捗あり	淀川・神崎川及び左門殿川防潮扉点検操作訓練を関係する28機関合同で毎年実施。	
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗あり	令和2年に淀川大堰、令和3年に淀川陸閘、伝法陸閘、阪神陸閘の耐震対策が完了。また、地震時の陸上輸送の遮断に対応するための代替ルートを確保する淀川大堰開門事業に令和3年度より着手した。	
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	進捗あり	淀川左岸部の国道176号～JR上淀橋(JR東海道本線)の緊急道未整備区間2.2kmについては、淀川左岸線2期事業と重複整備区間のため、整備に向けて事業間調整を進めている。	
	65			津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	進捗あり	大阪府及び大阪市において、各機関のHP上で平成25年8月公表結果を公開している。なお、国土交通省では、「津波浸水想定の設定の手引き」を随時更新を行っていることから、最新の手引き等を情報提供を行う。	
	66			津波情報提供設備の設置内容・設置数	進捗あり	設置に向けて、提供内容等の検討を行っている。	
	67		陸閘の確実な操作のための取組	進捗あり	淀川・神崎川及び左門殿川防潮扉点検操作訓練を関係する28機関合同で毎年実施。		
	利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っている。令和5年度の水利用許可の実績は0件。
		69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダムの貯水率及び節水への協力依頼をホームページに掲載するとともに、各種イベントでのパネル展示などにより、ダムの役割(治水・水道・発電)への意識向上を図っている。また淀川ダム統合管理事務所に既設ダム群の操作指示を行うことにより効率的な用水補給を実施している。
70		安定した水利用が出来ていない地域の対策		新規水源の確保内容	進捗なし	天ヶ瀬ダム再開発事業は令和4年8月に運用開始済み。引き続き、安定した水利用のための水利権の見直しの必要性把握に努める。	
71		渇水への備えの強化	渇水調整の円滑化への取り組み	渇水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	令和5年度は昨年度に引き続きタイムラインの試行運用を実施した。	
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	進捗あり	令和4年3月に設立した淀川舟運活性化協議会において、R6年度に取組む内容として、万博開幕6ヶ月前イベント(10/13)及び万博開幕1ヶ月前イベント(3/16)を実施することで合意した。また、舟運の社会実験をいくつか実施し、ニーズや課題を把握した。また、舟運復活に向けて、地震時の陸上輸送の遮断に対応するための代替ルートを確保する淀川大堰開門事業に令和3年度より着手した。	
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	淀川本川において不法係留が見られるため、水面利用の適正化に向けて是正に取り組んでいる。(平成30年度末時点で合計31隻を確認)引き続き不法係留船の所有者に対して是正指導を行い、令和5年度は不法係留船の所有者を特定するとともに、簡易代執行により2隻を撤去し、大阪府域の所有者不明の不法係留船は解消されている。不法係留船の撤去により、洪水時における不法係留船流失による河川管理施設等への衝突等に伴う損傷リスクを軽減するとともに、不法占用解消、環境改善が図られた。	
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検結果をもとに31箇所の補修を実施した。危険箇所における注意喚起看板の設置や水難事故防止の教育等を行ったこともあり、利用者が増加するゴールデンウィークや夏休み期間において無事故であった。	
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	令和5年8月に塚本干潟にて、中高生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。	
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	淀川本川の高水敷利用について、自治体が占用する運動場等審議対象として河川保全利用委員会を開催。委員からは「環境に関する取組の重要性や河川が持っているポテンシャルの活用」などの意見をいただき、占用者に対して管理の改善について指導・助言を実施。	
	77	違法行為の是正内容		進捗あり	淀川本川(大阪府域)の不法耕作面積は、令和4年度から令和5年度にかけて約6千㎡前後を推移しており、令和5年度末時点で約6469㎡である。通常巡視に加え、職員が個別に現地に対応し、口頭指導、禁止看板の設置等を実施している。		
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり	平成21年度にかわまちづくり支援制度が創設され、河川管理者がハード・ソフト面での支援を行っている。令和4年度に「淀川河川敷十三エリアかわまちづくり」が登録され、令和5年度には「淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり」が新規登録された。枚方や十三において、かわまちづくり計画に基づく整備を実施。十三では、裏法面盛土や緊急用船着場の工事を継続して実施。	
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	河川管理道路を活用し自転車道として占用された自治体において、周辺地域間とのネットワークが形成されている。令和5年度での整備実績はなし。	
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	不定期に危険なゴルフ練習、ゴミの不法投棄等の迷惑行為が行われており、巡視を含めた現地での口頭指導、禁止看板の設置等を実施している。	
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	令和元年度には46名が河川敷で起居していたが、これまで定期的に巡回するとともに、福祉部局とも情報交換を実施したことにより、令和5年度末には31名となっている。	
82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	該当なし			
83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	進捗あり	令和4年に淀川河川敷十三エリア、令和5年に淀川河川敷枚方エリアにおいてかわまちづくり計画が登録され、良好な水辺空間の創出を目指し、環境整備を実施すべく、関係自治体等と議論を実施。		

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	令和5年度点検結果
維持管理	84	維持管理	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施。抽出された変状毎の2次評価結果では、令和5年度末時点で、予防保全段階28箇所、措置段階0箇所となっている。また、毛馬排水機場のポンプ設備について、計画的な整備を行っており、令和5年度に、振動やインペラハブの腐食減肉等により、1号ポンプの分解整備に着手した。
	85			ダム機能の維持内容・堆砂量	該当なし	
	86	許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、令和5年度は橋梁、樋門等許可工作物121施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち監視段階が19施設、予防保全段階が14施設あった。	
	87	維持管理	河川区域等の管理	河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	淀川本川全体で令和4年度～令和5年度にかけて、294,934千㎡伐採した。このときの伐採箇所はすべて流水阻害対象樹木群であった。これにより、伐採区間については河道流下断面が確保できた。
	88			堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	淀川本川において、当面は10.0kmから三川合流点のうち、航路を確保する必要のあるところについては堆積土砂の除去対策を実施している。なお、その際、砂利採取規制計画に定める範囲内において、砂利採取を認めている。令和4年度～令和5年度で約29.5万㎡の堆積土砂撤去を実施。河道内堆積土砂の管理については、定期的及び出水後の河床変動状況を把握するため、縦横断面測量等モニタリングを実施。
	89			ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努める。淀川河川事務所管内では、令和4年度で約680㎡、令和5年度で約460㎡のゴミを処理。



淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	令和5年度点検結果		
人と川とのつながり	1	日常からの川と人のつながりの構築	「住民参加推進プログラム」の作成・実践	住民参加推進プログラムの活動内容	進捗あり	宇治川流域では、平成15年より現在まで継続して実施している京都伏見ジュニア河川レンジャーの取り組みの他、地域の水害リスクについて学ぶ中学校の防災学習、水難事故防止のための小学校の水辺の安全利用学習(PFD着用体験等)など、河川レンジャーを活用し、地域課題に対応した取り組みを展開した。活動回数26回、2171名が参加した。 また、三川合流地点のさくらであい館を活動拠点として活用し、周辺の自然観察会や、地元八幡市の「竹」を七夕飾りにして展示する七夕イベントや、淀川の水防災と歴史を伝える講座など、多彩な活動を実施した。		
	2		住民・住民団体(NPO等)との連携	住民・住民団体(NPO等)との連携内容	進捗あり	自治体、地域団体と連携し、広報、ごみ処理、掃除道具の手配、当日の運営、安全管理等を分担して、河川清掃活動等を実施。青少年によるクリーン宇治運動については、204名の参加があった。参加者からは「予想していたよりゴミが少なかったが、たばこの吸い殻が目立つ」「観光地なのできれいに保ちたい」などの意見をいただいた。そのほかの活動等を含め、延べ56団体(住民団体24、行政関係17、学校関係15)と連携を行った。		
	3		河川レンジャーの充実	河川レンジャー在籍人数(治水・環境・防災などの拡大)と、住民・住民団体(NPO等)との交流内容	進捗あり	宇治川流域では、河川レンジャーを活用し、令和5年度に26回、住民等と交流を行った。 京都環境フェスティバル2024に河川レンジャーが出演し、京都府域の子ども達(木津川川ガキ団)とともに自然環境、舟運、防災等の河川レンジャー取り組みや、淡水魚の生体展示や取り組み発表等を行い、河川の魅力発信を行った。 参加者からは「実際に生きている魚を観察出来て良かった」「餌やり体験でどの魚がぐいしくなってきた」「スタッフの人と話して、川ガキ団に入りたくなった」「川に入って活動してみたい」などの意見をいただいた。運営や発表に協力した子どもたちからは、「自分と同じ考えの人に初めて出会えて、嬉しかったし、繋がった感じがした」「今度はさらにみんなが楽しめるものを考えたい」などの意見があった。		
	4		子ども達の関わりの促進	環境教育等の実施内容	進捗あり	令和5年8月に宇治橋にて、中高生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。 また、三川合流地点のさくらであい館を活動拠点とし、淀川河川公園背割堤地区にて、自然環境にふれ合える、水辺の生き物探検隊や、秋の野草教室として、野草観察や葉脈標本づくり体験を実施した。		
	5		情報発信の充実	HP、携帯サイトの情報発信内容、新しいコンテンツの取り組み	進捗あり	河川に係わる身近な情報(工事情報や河川のライブ映像、河川公園で行われるイベントなど)をホームページやSNS(Youtube、Facebook、Twitter)で、継続的に情報発信している。		
	6		住民に関心をもってもらうための取り組み	住民に河川行政への関心をもってもらうための具体的な取り組み、住民、住民団体との交流内容	進捗あり	地域・学校と連携し、ハザードマップの読み方や避難フローの考え方を学ぶ出前講座などについて、活動を5回実施し、429名が参加した。		
	7		小径(散策路)、「歴史文化の薫る散歩道(仮称)」の整備	小径(散策路)の整備内容・延長	進捗なし	残整備区間については、改修事業等と併せて実施。令和5年度は実績なし。		
	8		憩い、安らげる河川の整備	河川を安心して利用できる整備内容・箇所数	進捗あり	淀川河川公園背割堤地区の園路(約1.4Km)について、園路タイル際(土身部分)の沈下箇所土のうを設置し、来園者が安全に通行できるよう園路周辺の段差補修を行った。		
	9		三川合流部の整備	三川合流部交流拠点の整備内容	進捗あり	背割堤地区において、淀川河川公園の歴史・魅力紹介及び公園利用への案内・注意喚起のため、サイン看板の設計を行った。引続き、さくらであい館にて、淀川三川さくらレンタサイクルを実施した(R6年1月末まで)。		
	10		洪水・災害時の人と川とのつながりの構築	破堤氾濫に備えた分かりやすい情報発信	まるごとまちごとハザードマップ設置箇所・設置数、浸水想定区域、浸水シミュレーション等の防災情報の情報発信	進捗あり	京都府域において、「まるごとまちごとハザードマップ」を令和5年度には64箇所追加設置。(宇治市で1箇所、久御山町で6箇所追加設置。)それにより、京都府域での設置箇所は393箇所となった。	
	11			関係機関との連携	協議会等との連携内容	進捗あり	毎年度定期的に協議会(水害に強い地域づくり協議会)を開催することにより、関係自治体との連携を強化している。なお、令和5年度は首長会議1回、行政WG1回、ブロック別会議1回、鉄道WGを1回開催し、関係機関との連携を図った。また、協議会を通じて、流域タイムラインを作成しており、令和5年度より運用を行っている。	
	12		上下流の連携の構築	上下流交流の促進	水源地域ビジョンに基づく活動内容	進捗あり	令和5年10月22日瀬田川一斉清掃、鳳凰湖船舶安全利用協議会主催の清掃活動に参加。 既往の環境保全活動の継続、水辺空間を活かしたイベントの開催(京の七夕in宇治)	
環境	13	多様な生態系を有する淀川水系の再生と次世代への継承	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数[下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)]	イタセンバラを目標種とした淀川中下流域での環境再生の実施内容・個体数[下流域(湛水区間)、下流域(流水区間)]	該当なし			
	14		琵琶湖・淀川水系の生態系の固有性および多様性の価値に関する保全	ナカセコカワニナの生息・繁殖環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容[中流域宇治川]	進捗あり	宇治川塔の島地区において、令和2年度に実施されたナカセコカワニナの生息環境を保全するための、浅場造成工事以降の継続したモニタリング調査により、模式産地における浅場造成箇所はナカセコカワニナの生息に適した環境になったことが明らかとなった。令和5年度の調査では840個体が確認された。令和5年度は、工事後5年目にあたることから、モニタリング調査の最終的な評価・とりまとめを行った。		
	15		オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容[上流域(盆地～源流部)木津川]	オオサンショウウオの生息・繁殖に適した河川環境の再生・創出方策の検討内容[上流域(盆地～源流部)木津川]	該当なし			
	16		アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数[中流域宇治川]	アユモドキの生息環境として望ましい河川環境の再生方策の検討内容・確認箇所数[中流域宇治川]	該当なし			
	17		生態系・生物群集多様性の維持・回復に向けた取組	関係機関が連携した取り組み内容	進捗あり	令和2年度より京都府の助言の元、外来種のアルゼンチンアリの駆除対策として、宇治川右岸域の伏見地区において駆除剤を設置。令和5年度は防除対策を継続。		
	18		外来種対策の実施	外来種の現状把握と対策内容	進捗あり	京都府やほか関係機関と協同で「アルゼンチンアリ根絶協議会」を設立し、定期的に分布範囲の調査や、効率的な防除対策について検討している。		
	19		良好な景観の保全・創出の取り組み	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容[上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	瀬田川の水辺のあり方に関する取り組み内容[上流域(山間部)宇治川～瀬田川、上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	該当なし		
	20			河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	河川景観を損ねている不法工作物等の計画的な正やゴミの不法投棄の防止内容・対策箇所数	進捗あり	宇治川の令和5年度末時点の不法耕作面積は約1,212㎡となっており、減少傾向にある。	
	21			ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数[上流域(山間部)宇治川～瀬田川]	ダム貯水池の斜面裸地対策、ダム周辺における構造物等の景観対策の実施内容・対策箇所数[上流域(山間部)宇治川～瀬田川]	進捗あり	平成27年度に実施した試験施工箇所について、定期的に確認を行った。	
	22		河川の連続性の確保	河岸-陸域の連続性の確保	ワンドやたまりの保全・再生内容・整備箇所数[下流域(湛水区間)]	進捗あり	河道掘削等の改修時において、ワンド・たまりの保全方法を検討している。	
	23			ヨシ原の保全・再生内容・面積[下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川]	ヨシ原の保全・再生内容・面積[下流域(感潮区間)、下流域(流水区間)、中流域宇治川]	進捗あり	河道掘削等の改修時において、ヨシ原の保全方法を検討している。	
	24			内湾-汽水域-河川、琵琶湖-内湖-流入河川の連続性の確保	既設の堰・落差工の改良内容	進捗なし	関係機関と調整しながら、必要に応じて調査を行い、検討予定。令和5年度は実績なし。	
	25		川本来のダイナミズムの再生	水位変動リズム回復のための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	淀川大堰による水位操作の改善内容[下流域(湛水区間)]	淀川大堰による水位操作の改善内容[下流域(湛水区間)]	該当なし	
	26				瀬田川洗堰による水位操作の改善内容[上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	瀬田川洗堰による水位操作の改善内容[上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	該当なし	
	27				琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容[上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	琵琶湖における水位低下緩和方策の検討内容[上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)]	該当なし	
	28				既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数[上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川]	既設ダムにおける弾力的運用等の検討内容・魚類確認数[上流域(山間部)木津川、上流域(山間部)名張川・宇陀川・青蓮寺川・猪名川]	該当なし	
	29				河川環境上必要な流量を確保するための流況・位況(流量・水位の変動様式)の改善	流水の正常な機能を維持するため必要な流量の確保内容・正常流量確保日数	該当なし	

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	令和5年度点検結果
治水・防災	30	流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築	流域視点による水質対策の実現や流域的な現状把握状況	水質総量規制の実施体制の検討、新たな水質浄化の取り組み内容	進捗あり	河川事務所内の集中管理センターにて、24時間体制で水域の水質監視を行っている。
	31			南湖の再生プロジェクト取り組み内容〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	32		水質負荷と環境影響についての流域的な現状把握	琵琶湖の水質保全対策の取り組み内容・効果〔上流域(湛水区間)瀬田川(野洲川含む)〕	該当なし	
	33			河川の水質保全対策の取り組み内容	進捗あり	令和5年度に宇治川 宇治橋地点で水質調査(BOD)を実施。水質調査結果の平均値は0.6mg/Lであった。
	34		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握	ダム貯水池の水質保全対策の取り組み内容・対策実施数	進捗あり	天ヶ瀬ダムの水質及び底質共に経年的な変化は概ね確認されており、引き続き水質、底質調査を実施していく。
	35			河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既存ダム、ダム下流)	進捗あり	淀川水系総合土砂管理検討委員会で総合土砂管理方策について検討。令和元年度、令和3年度に実施した置砂の効果についてモニタリングを実施中。
	36	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)		該当なし		
	37	流域管理に向けた継続的な施策展開	モニタリングの実施	河川環境のモニタリングの実施内容	進捗あり	宇治川塔の島地区において、令和2年度に実施されたナカセコカワニナの生息環境を保全するための、浅場造成工事以降の継続したモニタリング調査により、模式産地における浅場造成箇所はナカセコカワニナの生息に適した環境になったことが明らかとなった。令和5年度の調査では840個体が確認された。令和5年度は、工事後5年目にあたることから、モニタリング調査の最終的な評価・とりまとめを行った。
	38		生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工	生物の生息・生育・繁殖環境に配慮した工事の施工の実施内容・箇所	進捗あり	淀川環境委員会の指導・助言を得ながら生物の生息・生育・繁殖環境に配慮し適切に工事を施工している。令和5年度、淀川環境委員会に諮った工事案件数は24件だった。(うち宇治川は7件)
	39		関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生	関係機関との連携による河川環境や景観の保全・再生の実施内容	進捗あり	令和5年度もスクリーニング会議において、淀川環境委員会からの指導・助言を受け、景観や環境に配慮した工事を行い、関係機関と連携して河川環境の保全・再生を図った。
	40		河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけ	河川管理者以外の者が管理する施設に対する働きかけの実施内容	進捗あり	令和5年度に京都国道事務所が管理する「国道24号親月橋橋脚補修工事」について、環境委員に工事箇所の状況を現地確認頂き、環境配慮に対する指導・助言を実施した。
	41		河川環境の保全と再生のための人材育成	河川環境の保全と再生のための人材育成の実施内容	進捗あり	生物の良好な生息・生息環境に配慮し、美しい自然環境を保全、創出するための「多自然川づくり近畿地方ブロック会議」を毎年開催している。整備局・地方公共団体等の職員及び民間技術者の知見の蓄積や意識の向上を目的としている。
	42		流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の実施	流域管理に向けた環境情報に関する調査研究の推進の実施内容	進捗あり	毎年簡易水質調査を実施している。令和5年度も水生生物による簡易水質調査で水質階級を判定し、経年変化を調査・把握し、データの蓄積を行っている。
	43	危機管理体制の構築	破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の確立	災害体験者からの災害状況の聞き取り及び防災意識の啓発内容	進捗あり	自治体、学校等と連携し、防災イベント、出前授業等で河川レンジャーが浸水地歩行体験、マイ・タイムライン作成指導等を行った。令和5年度は5回実施、429人が参加した。
	44			自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制	進捗あり	令和5年度に、前線による大雨時、水害に強い地域づくり協議会の担当者やWEB会議で気象状況や水位予測等についての情報共有を行った。
	45			ハザードマップの作成内容・フォローアップ	完了	
	46			災害対応プログラムの作成内容(災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容)	進捗あり	事務所HPIにて、マイ防災マップ作成オンライン学習動画を掲載している。令和5年度は水害に強い地域づくり協議会にて、要配慮者利用施設での避難訓練の実施に向け訓練実施状況等の周知を行った。
	47			地下空間の浸水被害への対応状況	該当なし	
	48			水防活動、水防訓練への支援内容及び水防技術の継承	進捗あり	2023淀川水防連絡会(水防に関する情報共有・意見交換等)を関係機関・水防事務組合と合同で実施。
	49			水防拠点整備の内容・箇所数	進捗あり	令和3年度に、淀川・宇治川・桂川・木津川における「河川防災関連施設全体計画」の承認を受けた。全体計画の中で、中核施設として位置づけている整備箇所について、関係市町と協議を進めており、具体的には久御山町と防災ステーションの計画策定に向けて議論を進めている。
	50			公共施設の耐水化等の支援内容	進捗あり	自治体が管理する施設等にまるごとまちごとハザードマップ設置の支援を行い、各地域の浸水被害に対する危険度を周知している。
51	水害に強い地域づくりに向けた取組内容			進捗あり	京都府域において、「まるごとまちごとハザードマップ」を令和5年度には64箇所追加設置。(宇治市で1箇所、久御山町で6箇所追加設置。)それにより、京都府域での設置箇所は393箇所となった。また、出前講座やマイタイムラインの作成支援等も継続的に行っている。	
52	河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施			流域全体の総合的な治水の取組内容	進捗あり	令和2年度に淀川流域治水協議会を設立し、協議会の中で淀川流域治水協議会淀川(京都府域)分会を設置。令和5年度は、流域治水プロジェクト2.0や水害リスクの自分事化、流域治水に関する取組について情報共有した。
53	堤防強化の実施	堤防の強化対策の実施	HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長	進捗あり	引き続き、堤防強化実施済箇所における被災や新たな知見を踏まえ、必要な調査や点検を実施し、対策が必要となる区間について、堤防強化を実施し、洪水に対する堤防の安全性の向上を図っていく。	
54			堤防天端以下、侵食対策実施内容・延長	進捗なし	残りの侵食対策については、今後の調査検討を踏まえ、整備予定。令和5年度は実績なし。	
55			堤防天端舗装実施内容・延長	完了		
56	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減	上下流バランスの確保	上下流バランスにおける調整内容	進捗あり	令和4年度に、天ヶ瀬ダム再開発事業が完成し、令和4年8月より運用開始。令和3年8月の整備計画変更により、塔の島地区の河川改修に引き続き、河道掘削等を実施する。
57			整備による効果	進捗あり	塔の島地区河川改修が完了したことで、昭和28年台風13号洪水を目標とする流下能力を確保しており、令和3年8月の整備計画変更により、平成25年台風18号洪水を目標とする流下能力の確保に向け、河道掘削等を推進する。引き続き、整備効果の把握に努める。	
58	高規格堤防(スーパー堤防)の整備	ハードによる超過洪水対策の実施	高規格堤防の整備内容・延長	該当なし		
59	土砂対策	土砂移動の制御の実施	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当なし		
60	既設ダム等の運用検討	洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既存ダムの効果内容・洪水位低下量	進捗なし	令和4年度に、天ヶ瀬ダム再開発事業が完成し、令和4年8月より運用開始。これに伴い、より大きな洪水に対して洪水調節機能を効果的に発揮することができるようになった。令和5年度は洪水調節の実績なし。	

淀川水系河川整備計画の進捗点検における点検項目、観点及び指標

分類	No.	点検項目	観点	指標	令和5年度進捗	令和5年度点検結果	
	61	高潮対策	高潮被害軽減策の実施	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当なし	各施設の耐震性能照査を実施し、要対策施設について対策内容を検討している。	
	62			陸閘の確実な操作のための取組	該当なし		
	63	地震・津波対策	地震対策事業の実施	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	進捗あり		
	64			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当なし		
	65			津波対策事業の実施	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数		該当なし
	66				津波情報提供設備の設置内容・設置数		該当なし
	67				陸閘の確実な操作のための取組		該当なし
利水	68	環境に配慮した効率的な水利用の促進	慣行水利権の許可水利権化の実施	水利権の見直し、転用、慣行水利権の許可化の実施状況	進捗あり	水利権の許可更新時に取水量の減量や用途廃止等の水利権の見直しを行っている。また慣行水利権の許可水利権化については、法定化に向けた働きかけを行っている。令和5年度の水利権許可の実績は0件。	
	69		効率的な水利用の促進	効率的な水利用のための取り組み	進捗あり	ダム貯水率及び節水への協力依頼をホームページに掲載するとともに、各種イベントでのパネル展示などにより、ダム役割(治水・水道・発電)への意識向上を図っている。また淀川ダム統合管理事務所にて既設ダム群の操作指示を行うことにより効率的な用水補給を実施している。	
	70		安定した水利用が出来ていない地域の対策	新規水源の確保内容	進捗なし	天ヶ瀬ダム再開事業は令和4年8月に運用開始済み。引き続き、安定した水利用のための水利権の見直しの必要性把握に努める。	
	71		濁水への備えの強化	濁水調整の円滑化への取り組み	濁水対策会議の機能拡大、会議構成員拡大及び常設化(利水者会議)の実現に向けた内容	進捗あり	令和5年度は昨年度に引き続きタイムラインの試行運用を実施した。
利用	72	川らしい利用の促進	水域の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(水面利用)	舟運の取り組み内容	進捗あり	令和4年3月に設立した淀川舟運活性化協議会において、R6年度に取組む内容として、万博開幕6ヶ月前イベント(10/13)及び万博開幕1ヶ月前イベント(3/16)を実施することで合意した。また、舟運の社会実験をいくつか実施し、ニーズや課題を把握した。	
	73			秩序ある河川利用に向けての取組内容・誘導、規制数	進捗あり	現状、宇治川では不法係留は見られないが、今後、船舶の航行などの水面利用が見込まれるため、引き続き秩序ある水面利用を促す。	
	74		川の安全利用施策の実施	安全利用点検の実施内容、水難事故防止に向けた取り組みの実施回数	進捗あり	安全利用点検の結果、要補修箇所が無い旨確認した。危険箇所における注意喚起看板の設置や水難事故防止の教育等を行ったこともあり、利用者が増加するゴールデンウィークや夏休み期間において無事故であった。	
	75		「川に活かされた利用」の実施	河川でしか出来ない利用(環境教育等)の実施内容	進捗あり	令和5年8月に宇治橋にて、中高生を対象とした水生生物の共同調査会を実施。	
	76		陸域・水陸移行帯の秩序ある河川利用に向けての誘導または規制の取組(川らしい河川敷利用)	河川保全利用に関する取り組み内容	進捗あり	宇治川の高水敷利用について、自治体が占有する公園等を審議対象とし、河川保全利用委員会を開催。委員からは占有地利用の適正化について高評価を頂いた。また環境啓発看板の設置・更新など施設管理者に対して施設の改善について指導・助言を実施した。	
	77			違法行為の是正内容	進捗あり	宇治川において、令和4年度の不法耕作面積は約1212㎡となっており、減少傾向にある。悪質な不法投棄に対しては、行為者を特定し、行為者による自主撤去が行われた。	
	78	憩い、安らげる河川の整備	憩い、安らげる河川の整備	水辺の整備内容	進捗あり	平成21年度にかわまちづくり支援制度が創設され、計画を進捗させるべく議論を行っている。R5年8月に八幡市、伏見区、宇治市において、かわまちづくり計画が登録(宇治は変更登録)された。	
	79			小径(散策路)の利便性向上の取組内容	進捗なし	河川管理道路を活用し自転車道として占有された自治体において、周辺地域間とのネットワークが形成されている。令和5年度での整備実績はなし。	
	80			迷惑行為の是正内容・対策箇所数	進捗あり	2箇所において危険なゴルフの迷惑行為が行われていたが、現地での口頭指導及び禁止看板の設置を行った。	
	81			ホームレス対応内容・確認数	進捗あり	宇治川では定期的に巡回を実施したことにより、ホームレスの人数は令和5年度で2名となっている。	
	82	まちづくり・地域づくりとの連携	まちづくりや地域連携の取り組み	歴史文化と調和した河川整備内容	進捗あり	塔の島地区では、平成21年度より付近の景観や環境に配慮した河川改修を開始し、平成28年度からは宇治公園でも上面整備を実施。令和元年度完了。令和3年度には、治水と景観の一体的整備を行ったモデルとして高く評価され、近畿地方整備局が事業主体の河川整備事業において初めて、グッドデザイン賞を受賞した。引き続き、地域と連携し、歴史文化と調和した河川整備に努めている。	
	83			水辺を活かしたまちづくりの利便性向上の取組内容	進捗あり	平成30年度よりかわまちづくり制度を活用し、ダム直下の旧発電所施設の有効活用や天ヶ瀬ダムのピュースポット整備などを宇治市と連携して実施。令和4年度より、八幡(背割堤地区)、伏見においてもかわまちづくり制度を活用した周辺整備について議論を実施し、R5年度にかわまちづくり計画の新規登録。宇治においては、宇治川を軸とした天ヶ瀬ダム周辺～宇治橋周辺の回遊性向上を目標にしたかわまちづくり計画に変更するべく議論を実施し、R5年度にかわまちづくり計画の変更登録。	
	維持管理	84	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	堤防等の河川管理施設の機能を維持するための適切な維持管理の実施	ダムの健康診断内容・補修箇所数、堤防等河川管理施設の巡視・点検及び補修の実施内容	進捗あり	天ヶ瀬ダムにおいては、点検整備基準に基づく点検とともに、長寿命化計画に基づき、維持修繕・更新を実施している。また、堤防等河川管理施設の点検と点検結果の評価、対策工の検討及び優先度評価を実施。抽出された変状毎の2次評価結果では、令和5年度末時点で、予防保全段階40箇所、措置段階0箇所となっている。
85		ダム機能の維持内容・堆砂量			進捗あり	計画堆砂量に対する堆砂率は令和5年度末で約86%。令和5年度は浚渫土砂の揚上場(作業構台)を整備し、今後の浚渫工事を進めるための環境整備工事進捗を図った。	
86		河川区域等の管理	河川区域等の管理	許可工作物の点検整備及び対策についての施設管理者への指導	点検、修繕内容・実施数	進捗あり	「許可工作物に係る施設維持管理技術ガイドライン」に基づき、令和4年度は橋梁、樋門等許可工作物91施設の点検について、設置者単独、又は河川管理者との合同点検を実施した。うち要監視段階が26施設、予防保全段階が7施設あった。
87				河道内樹木の伐採の実施状況	進捗あり	宇治川全体で令和4年度～令和5年度にかけて、7,500㎡伐採した。このときの伐採箇所はすべて流水阻害対象樹木群であった。これにより、伐採区間については河道流下断面が確保できた。	
88				堆積土砂の除去の実施内容	進捗あり	河道内堆積土砂の管理については、定期的及び出水後の河床変動状況を把握するため、縦横断測量等モニタリングを実施。	
89				ゴミの不法投棄の状況及び処分の実施内容	進捗あり	河川レンジャーなどによる河川愛護活動や地域ボランティア活動の支援を行い、地域と一体となった塵芥処理に努める。淀川河川事務所管内では、令和4年度で約60㎡、令和5年度で約70㎡のゴミを処理。	